

令和5年 第3回区づくり推進横浜市会議員会議（南区）

令和5年9月5日(火) 午後1時00分

南区役所1階 多目的ホール

1 開会

2 座長あいさつ

3 区長あいさつ

4 議題

(1) 令和4年度 南区個性ある区づくり推進費の実績について

【資料1】・・・ P1

(2) 令和5年度 南区個性ある区づくり推進費の執行状況について

【資料2】・・・ P23

(3) 令和6年度 南区個性ある区づくり推進費の編成の考え方について

【資料3】・・・ P44

5 報告事項

災害時要援護者支援事業 個別避難計画の取組について

【資料4】・・・ P45

6 閉会

区づくり推進横浜市議員会議運営要領

制 定 平成 6年 5月25日

最近改正 平成25年 8月 9日

1 目 的

本市における個性ある区づくり推進費等について協議するため、各区に区づくり推進横浜市議員会議（以下「会議」という。）を置く。

2 招 集

会議は、市会議長が招集する。

3 構 成

会議は、当該区選出の市議員をもって構成し、互選による座長を置く。

4 協議事項

個性ある区づくり推進費に関して協議する。また、区の主要事業（区内において局が行う事業及び区配事業を含む）に関して必要に応じ協議する。

5 説 明 員

区長及び区局関係職員とする。

6 開催内容及び開催時期

開催内容及び開催時期は、次のとおりとする。

- (1) 個性ある区づくり推進費の翌年度予算案に関して、予算特別委員会の審査日程を考慮して開催する。
- (2) 個性ある区づくり推進費の当該年度執行計画等に関して、6月頃開催する。
- (3) 個性ある区づくり推進費の前年度実績と当該年度の執行状況及び翌年度予算編成の考え方に関して、決算特別委員会の審査日程を考慮して開催する。
- (4) 局が行う事業及び区配事業を含む区の主要事業に関しては、上記開催時に必要に応じて適宜協議する。

7 事 務 等

- (1) 会議の事務は区長が行い、会議の概要を記載した議事録を作成する。
- (2) 議事録は、会議の日時、場所、出席者、議題及び発言の要旨を記載する。
- (3) 座長は、議事録を議長に提出する。提出された議事録は、議長において、これを公開する。

附 則

この要領は、平成16年12月10日より施行する。

附 則

この要領は、平成25年 8月 9日より施行する。

(1) 令和4年度 南区個性ある区づくり推進費の実績について

令和4年度 南区個性ある区づくり推進費 決算書

1 自主企画事業費

(単位：円)

区 分	事 業 内 容	当初予算額	現計予算額	決算額	差引額
減災	みなみ減災推進事業<重>	14,017,000	14,017,000	13,800,725	216,275
賑わい	南区あったかいふるさとまつり事業<重>	21,373,000	21,373,000	19,706,223	1,666,777
	魅力発信・賑わいづくり事業<重> ほか3事業				
健やか	健やか元気応援事業<重>	14,664,000	14,664,000	10,843,393	3,820,607
	地域福祉保健計画等推進事業<重> ほか2事業				
子ども	すこやか子育て支援事業<重>	8,174,000	8,174,000	7,493,982	680,018
	青少年育成事業				
地域之力・着実に取り組む事業	地域之力応援事業<重>	40,762,000	40,762,000	39,647,698	1,114,302
	区役所運営事業<重> ほか7事業				
合 計 (21事業)		98,990,000	98,990,000	91,492,021	7,497,979

(事業名の〈重〉は重点事業)

2 統合事務事業費

(単位：円)

区 分	当初予算額	現計予算額	決算額	差引額
統合事務費	33,266,000	33,266,000	31,641,775	1,624,225
統合事業費	15,767,000	15,767,000	14,095,183	1,671,817
広報よこはま南区版発行事業	7,345,000	7,345,000	6,726,889	618,111
専門相談事業	1,404,000	1,404,000	1,404,018	▲18
クリーンタウン事業	288,000	288,000	255,875	32,125
消費生活推進員事業	295,000	295,000	226,093	68,907
緊急時情報システム運用事業	558,000	558,000	414,940	143,060
スポーツ推進委員支援事業	1,835,000	1,835,000	1,785,054	49,946
青少年指導員事業	3,112,000	3,112,000	2,352,314	759,686
学校・家庭・地域連携事業	750,000	750,000	750,000	-
健康づくり月間事業	180,000	180,000	180,000	-
合 計	49,033,000	49,033,000	45,736,958	3,296,042

3 区庁舎・区民利用施設管理費

(単位：円)

区 分	事 業 内 容	当初予算額	現計予算額	決算額	差引額
区庁舎等	区庁舎・公用車等管理運営費 ※	125,474,000	149,260,000	155,892,387	▲6,632,387
土木事務所	土木事務所管理運営費	4,567,000	4,567,000	5,071,568	▲504,568
公会堂	公会堂管理運営費	38,558,000	38,558,000	43,122,678	▲4,564,678
地区センター・スポーツ会館	地区センター(4館)、スポーツ会館指定管理者委託料	161,488,000	161,488,000	162,142,000	▲654,000
青少年施設	こどもログハウス指定管理者委託料	7,965,000	7,965,000	7,965,000	-
老人福祉センター	老人福祉センター(南寿荘)指定管理者委託料	28,724,000	28,724,000	28,724,000	-
コミュニティハウス	指定管理者委託料(5施設)、区民利用施設運営委託料(2施設)	91,232,000	91,232,000	91,448,500	▲216,500
スポーツセンター	スポーツセンター指定管理者委託料	38,467,000	38,467,000	38,489,000	▲22,000
みなみ市民活動・多文化共生ラウンジ	みなみ市民活動・多文化共生ラウンジ管理運営費	30,064,000	30,064,000	29,972,860	91,140
その他施設(広場・遊び場)	子どもの遊び場遊具等安全点検委託料、子どもの遊び場等管理運営委託料、町のはらっぱ運営費等補助金	1,229,000	1,229,000	1,050,730	178,270
区庁舎・区民利用施設修繕費	区庁舎、土木事務所、区民利用施設修繕費	3,200,000	3,200,000	1,629,096	1,570,904
合 計		530,968,000	554,754,000	565,507,819	▲10,753,819
南区個性ある区づくり推進費 総計		678,991,000	702,777,000	702,736,798	40,202

※ 物価や燃料価格高騰の影響による、区庁舎の光熱費の不足額について、令和4年度2月補正を行いました。

令和4年度 南区個性ある区づくり推進費 自主企画事業の重点

令和4年度南区個性ある区づくり推進費自主企画事業については、「減災」「賑わい」「健やか」「子ども」を重点として、変化する社会情勢の中にあっても、地域の元気や暮らしの安全・安心などにつながる取組を通じて、区民の皆さまに寄り添った予算編成を進めるとともに、令和5年の南区制80周年に向けた準備経費を計上しました。

事業の実施にあたっては、脱炭素社会の実現や、デジタル化の推進といった全市的な取組の視点も踏まえながら進めていきます。



減災

大地震、台風などの被害軽減に向けて、区民一人ひとりの自助力と地域の共助力を高めるとともに、危機管理体制の強化に向けた取組を進め、地域防災力の向上を推進します。

みなみ減災推進事業【重点事業】



賑わい

下町情緒あふれる商店街、歴史ある寺社や文化財、区民に親しまれるまつりなどの資源を生かして、市内外に向けた魅力の発信に力を入れるとともに、区民のスポーツへの関心を高めます。

南区あったかいふるさとまつり事業【重点事業】

魅力発信・賑わいづくり事業【重点事業】

みなみ商店街等活性化事業

区民文化活動支援事業

区民スポーツ支援事業



健やか

食育の推進、生活習慣病予防や運動習慣の定着、介護予防などの取組を進め、いくつになっても住み慣れた地域で自分らしく暮らすことを目指します。また、感染症予防への取組を継続します。

健やか元気応援事業【重点事業】

地域福祉保健計画等推進事業【重点事業】

認知症早期対応・見守り支援事業【重点事業】

いきいきシニア健康応援事業



子ども

子どもを地域とともに見守ることや、多様な情報を発信することなどにより、子育て支援や青少年の健全育成を進めます。また、外国籍等の児童・養育者を支援します。

すこか子育て支援事業【重点事業】

青少年育成事業

地域の力・着実に取り組む事業

交通安全、防犯対策、ごみの減量や多文化共生などの取組を通じて、区民の皆さまに寄り添った区役所づくりを進めます。また、各地域の特色を生かした地域の活性化や課題解決に向けて、活動に携わる人材の発掘・育成等に、地域の皆さまとともに取り組みます。

地域の力応援事業【重点事業】

区役所運営事業【重点事業】

みなみ多文化共生推進事業【重点事業】

みなみチャレンジごみ減量事業

地域で守ろう私の安全安心事業

クリーン・グリーンロードみなみ

広報広聴事業

地域住民組織との連絡調整事業

食とくらしの衛生支援事業

令和4年度 南区個性ある区づくり推進費自主企画事業費 執行実績

新型コロナウイルス感染症の拡大に伴って、

- ・事業を縮小して実施したもの
- ・代替の事業を行ったもの

縮小実施
代替実施

I 減災

1 みなみ減災推進事業 <重点>	予算額	決算額	差引額
		1,401万7千円	1,380万1千円

災害時、自らの身を守るための「自助」意識向上、地域で共に助け合う「共助」、災害対応力の向上のための「公助」に取り組みました。

【自助】

(1) 防災啓発事業

- ・区民の自助・共助意識向上のため、防災フェスタを実施し、防災パネル・起震車・燃料電池自動車の展示を行いました。（2月・200人参加）
- ・自治会町内会や若年層を対象に「防災出前塾」を開催し、自助・共助の必要性、重要性を啓発しました。（13回・610人参加）
- ・若年層への防災意識の啓発に向けて、市民防災センターへのバスツアーを実施し、将来の地域防災活動の担い手の育成を支援しました。（8月・103人参加）

(2) 減災対策支援事業

- ・家具転倒防止器具、ガラス飛散防止フィルム、感震ブレーカーの設置費用の一部を助成し、区民の自助対策を支援しました。
 - ア 家具
 - ・ ・ ・ 件数 : 40件 (第1期・5月～7月) (第2期・9月～11月)
 - (第3期: 1月)
 - 補助率: 重点対策地域及び対策地域※ 10分の9 <前年同>
 - 一般地域 3分の2 <前年同>
 - ※「横浜市地震防災戦略における地震火災対策方針」による重点対策地域及び対策地域
 - イ ガラス
 - ・ ・ ・ 件数 : 24件 (6月～11月)
 - 補助率: 3分の2 <前年同>
 - ウ 感震ブレーカー
 - ・ ・ ・ 件数 : 自治会町内会向け31件 (4月～1月)
 - (自治会町内会向け) 補助率: 5分の2 (危機管理室の補助(2分の1)に上乗せし、合計で10分の9補助) <前年同>
 - エ 感震ブレーカー
 - ・ ・ ・ 件数 : 個人向け226件 (4月～1月)
 - (個人向け) 補助率: 5分の2 (危機管理室の補助(2分の1)に上乗せし、合計で10分の9補助)

【共助】

(3) 災害時要援護者支援事業

- ・自治会・町内会担当者向け説明会を開催しました。（8月・29町内会72人参加）
- ・自治会・町内会向け出前講座（ご近助講座）を実施しました。（2回）
- ・区保有の要援護者名簿及び要援護者の居所を表示した地図を自治会町内会に提供し、要援護者への声掛け、訪問活動等顔の見える関係づくりに向けた取組を支援しました。
- ・要援護者名簿の受領により要援護者支援の取組を進める自治会町内会に対して、活動支援物品の支給等を行いました。（3月）

【公助】

(4) 災害対策本部運営強化事業

- ・迅速な区本部運営ができるよう職員用備蓄を更新しました。（5月）
- ・風水害時に開設する避難場所用に、食料（水、クッキー等）の備蓄を拡充しました。（7月）
- ・風水害時に迅速な広報、注意喚起及び連絡体制の確保のため、即時避難指示対象世帯に「緊急時情報システム」等の適切な通信環境を維持しました。（～3月）
- ・既存の防災用携帯電話端末を更新するとともに、回線を拡充しました。（7月）

(5) 地域防災拠点運営強化事業

- ・地域防災拠点の防災倉庫内の資機材の点検修理を行い、災害に備えました。(6月)
- ・地域防災拠点訓練の充実を図れるよう、横浜市防災ライセンス資機材取扱講習会受講者を対象とした南区防災ライセンスリーダースキルアップ講習会として、資機材取扱研修を実施しました。(12月・28人参加)
- ・地域防災拠点用に外国語翻訳端末を整備しました。(4月)

(6) 災害医療体制強化事業

- ・災害時においても安定した医療を提供できるように、南区医療救護隊訓練(12月)、南区災害医療連絡会議(3月)を開催するとともに、医療関係物品の整備、区民への広報を行い、災害医療体制の充実を図りました。

主な増減理由	<ul style="list-style-type: none">・減災対策支援事業における、家具転倒防止器具、ガラス飛散防止フィルム、感震ブレーカー設置補助の申請数減に伴う補助金及び委託料の残【82万1千円】・災害対策本部運営強化事業における、避難指示発令回数の実績による緊急時情報システムの通信費の残【49万4千円】・地域防災拠点運営強化事業における、資機材点検委託料の残【17万5千円】・減災対策支援事業における、感震ブレーカーチラシ全戸配布による、印刷製本費の増【△149万7千円】
--------	---

Ⅱ 賑わい

1 南区あったかいふるさとまつり事業 <<重点>>	予算額	決算額	差引額
		1,070万円	1,070万円

まつりの開催を通じて、区民相互の交流促進、郷土愛の醸成、文化活動の推進、健康増進等を目的とした、いきいきとした区づくりを推進しました。

(1) 南区民まつり(仮称)補助事業

- ・熱中症リスク等の夏の暑さ対策として、7月に実施していた南まつりと南区桜まつりを統合し、「みなみ桜まつり」として春に開催しました。
- ・区民相互の交流の促進やより一層の郷土愛を深め、南区の様々な魅力を区内外に広くPRするため、より魅力のあるまつりを創成しました。
- ・大岡川プロムナードでライトアップ(3/24~4/9)を実施しました。また、蒔田公園でイベント(3/25、3/26)を予定していましたが、荒天のため中止となりました。

(2) 南区桜まつり補助事業

- ・第32回南区桜まつりのライトアップ機材等の撤去を行いました。(4月)

2 区民スポーツ支援事業 <<重点>>	予算額	決算額	差引額
		57万	55万6千円

区民が気軽に参加でき、「する・観る・支える」をテーマとした生涯スポーツを始めるきっかけとなる事業を推進するため、団体の活動を支援しました。また、東京2020オリンピック・パラリンピックのレガシーとして、ポッチャの普及等に取り組みました。

(1) スポーツ協会支援事業

- ・南区スポーツ協会主催の地域貢献事業(みなっちランニングフェスタ(12月・南スポーツセンター及び大岡公園・370人参加)、みなっちスポーツフェスタ(2月・南スポーツセンター及び大岡はらっぱ・219人参加))に補助金を交付しました。

(2) 区民体力づくり事業(南の丘トレイルウォーキング)

- ・区民の体力づくりを目的とし、アップダウンを含む10km以上の健脚者向けトレイルウォーキングを実施しました。(11月・区役所~横浜公園~港の見える丘公園~大さん橋~日本丸メモリアルパーク・140人参加)

3 魅力発信・賑わいづくり事業 《重点》	予算額	決算額	差引額
	572万円	504万5千円	67万5千円

区の花「さくら」を中心とした南区の魅力を発信しました。

(1) 区の花「さくら」普及啓発事業

- ・桜の時期の情報発信や小学生向け出前講座の実施（5校）、桜の剪定枝の提供などを通じ、区の花「さくら」の普及啓発に取り組みました。
- ・身近な場所で区の花「さくら」に触れていただけるよう、公園でのサクラソウ栽培や、個人へのコスモス（秋桜）種配布など、普及花の取組を強化しました。

(2) 魅力発信事業

- ・南区ガイドマップを発行するとともに、新たに、南区ならではの飲食店の魅力発信として、「みなみのおすすメシ」事業に取り組みました。（認定店舗数31店舗・応募総数1,558件）
- ・区制80周年記念動画制作に向け、写真募集用イメージ動画を制作・公開しました。（12月）
- ・京急電鉄株式会社との連携により、「京急×横浜市南区区制80周年キャンペーン」を実施しました。（3/24～4/9、区制80周年記念缶バッジ500個配布）

主な増減理由	・区の花「さくら」普及啓発事業における、普及花配布等の申請数が当初の見込みより少なかったことによる消耗品費の残【49万9千円】
--------	---

4 みなみ商店街等活性化事業	予算額	決算額	差引額
	270万円	205万3千円	64万7千円

地域活性化を推進するため、地域とのふれあいや賑わいを創出し、魅力ある商店街づくり及び商店街等の活性化を図りました。

(1) 商店街活性化イベント補助事業

- ・商店街が中心となり実施するイベント事業に対する補助金を交付することにより、地域とのふれあいや賑わいを創出し、魅力ある商店街づくり及び商店街の活性化を図りました。

(2) 商店街等活性化支援事業

- ・南区内の商店街のお得な商品や逸品を提供するイベントとして、また、南区内の商店街をより広く区民の皆さまに周知する場として、「商店街朝市」(10/22)及び防災フェスタと合同で行う「商店街フェスタ」(2/25)を南区商店街連合会と連携して開催しました。
- ・商店街PRビデオの放映及び各商店街が制作しているパンフレットについて各所での配架を行い、市民や来訪者などに広く目に留まるようPRを行いました。

主な増減理由	・商店街等活性化支援事業における、商店街朝市、商店街フェスタの会場変更等に伴う会場設営委託料の残【47万1千円】 ・商店街等活性化支援事業における、商店街PRビデオ放映の見積合わせによる広告料の残【9万6千円】
--------	--

5 区民文化活動支援事業	予算額	決算額	差引額
	168万3千円	135万2千円	33万1千円
<p>南区文化祭実行委員会に補助金を交付するとともに、南区文化賑わい支援補助金にて活動団体を支援することで、南区の文化振興を図りました。また、読書活動推進講演会等を開催し、幅広い世代の方が本に触れる機会を提供しました。</p> <p>(1) 南区文化祭支援事業 ・文化祭を実施する実行委員会に補助金を交付して、南区民文化祭みんなの合唱祭、区民ステージ、フラ★フェスタ、区民創作作品展を開催し、区民の文化活動を支援しました。 (11月・みなみん(南公会堂)、多目的ホール・入場者数:延べ1,800人・参加団体数:53団体)</p> <p>(2) 南区文化賑わい支援事業 ・文化活動団体が自主的・主体的に企画、実施する事業に南区文化賑わい支援補助金を交付し、区民の文化活動を支援することで、賑わいを創出しました。(交付団体数:2団体)</p> <p>(3) 南区読書活動推進事業 ・区内における読書活動を推進するため、読書活動推進講演会等を実施しました。 (南図書館30周年事業講演会 9月・みなみん(南公会堂)・219人参加、 物語絵本講演会 12月・南区役所多目的ホール・33人参加)</p>			
<p>主な増減理由</p>	<p>・南区文化賑わい支援事業における、交付団体が当初の見込みより少なかったことによる補助金の残【27万5千円】</p>		

Ⅲ 健やか

1 健やか元気応援事業 <<重点>>	予算額	決算額	差引額
		723万3千円	510万4千円
<p>高齢化が進む中で、健康寿命を延ばし、地域の中で生き生きと自立した生活を送る区民が増えることが非常に大切です。若い時期からの生活習慣病の予防、日常的な運動習慣、健康診断の受診勧奨等を通じ、心身の健康づくりを応援しました。</p> <p>(1) 健康づくり推進事業 縮小実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・幼少期からの食育を推進し、市全体と比べると低い野菜摂取量の向上を目指し、区で行う事業や地域のイベント等で、推定野菜摂取量を測定し、食生活を考えるきっかけとしました。(11回・189人参加) ・生活習慣病の発症や悪化を予防するための講座を実施しました。(2回・46人参加) ・生活習慣改善につなげるための相談やイベントでの啓発を通じて健康習慣定着に向けた風土づくりを行いました。(59回・約346人参加) ・食育関係者との意見交換や食育普及啓発のイベント等を実施しました。(2回・199人参加) ・がん、結核・HIV、禁煙・受動喫煙、オーラルフレイルなどの健康情報発信を行いました。(5回) <p>(2) 国民健康保険特定健診受診率向上事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国民健康保険特定健診未受診者に電話により受診勧奨を行いました。 ・受診啓発物品を作成し、新規加入者等への受診啓発に取り組みました。 <p>(3) 自殺対策事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・区民や、地域の支援者が悩んでいる人に「気づき」、専門機関への「つながり」ができるように区民向け、関係団体等支援者向けに講演会を実施しました。(9月・みなみ(南公会堂)・61人参加) ・南区職員全員がゲートキーパーになることを目標に、ゲートキーパー研修を実施し、受講者に『南区ゲートキーパーカード』を配布することで、職員の意識向上につなげました。(4月・転入者研修・80人参加、11月・スタッフプロジェクトによる実践研修・32人参加) ・職員向け研修を健康福祉局・総務局と共催で実施しました。(8月・みなみ(南公会堂)・147人参加) ・新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、自殺リスクが高まっているため、鉄道事業者や関係団体等と連携して、ポスター掲出し、普及啓発を図りました。(9月・3月) ・自殺対策強化月間を中心に、8月に区役所で、10月に南なんデーで、3月に南図書館で啓発パネル展を実施、広報よこはま区版9月号、3月号への相談窓口案内の掲載、懸垂幕の掲出など、広報啓発を行いました。 <p>(4) 障害者サポート事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・障害者の定期的な運動機会の確保を通して、自主的な健康づくりを目的に、区内の障害福祉サービス事業所の利用者を対象とした出張形式の運動指導を行いました。(7事業所・412人参加) ・食生活や口腔ケア等の生活習慣に関連した健康管理の普及啓発を目的に、区内の障害福祉サービス事業所を会場とした出張講座を実施しました。(5回・51人参加) ・地域精神保健家族会に対し、医療専門職がアドバイザーとして精神障害者の健康の保持増進に関する学習会を行いました。(6月・18人参加、7月・21人参加) ・障害児者の支援機関や当事者団体と連携し、障害者施設・作業所をまとめたパンフレットの周知を通して、障害者と地域がつながるきっかけづくりを進めました。 ・障害に関する相談支援機能の充実を目的として、障害児・者の相談支援を行う事業所を対象としたスキルアップの研修に取り組みました。(7月・31人参加、9月・27人参加) <p>(5) いきいきふれあい南なんデー 縮小実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・健康福祉まつりの開催を通して、区民の健康増進と地域福祉の向上を図りました。(10/2・区役所及びみなみ(南公会堂)・来場者数延べ2,394人) 			
主な増減理由	<ul style="list-style-type: none"> ・健康づくり推進事業における、生活習慣改善講座実施の規模縮小(新型コロナウイルス感染症対策)による委託料及び消耗品費等の残【100万円】 ・いきいきふれあい南なんデーにおける、イベント縮小(新型コロナウイルス感染症対策)による補助金の残【61万4千円】 		

2 地域福祉保健計画等推進事業 《重点》	予算額	決算額	差引額
	324万5千円	210万1千円	114万4千円
<p>第4期南区地域福祉保健計画について、区民との協働により推進しました。また、イベントや広報紙発行により、計画の啓発を行いました。</p> <p>(1) 南区地域福祉保健計画推進事業 縮小実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第4期計画の策定を区民に広く周知し、推進するため、スタートアップイベントを開催しました。(7月) ・第4期計画で特に取り組むべき地域福祉保健の課題解決を目的に、関係機関等による検討会を開催しました。 ・様々な広報媒体を通じて、計画の進捗や地域福祉の活動事例を共有しました。 <p>(2) 「みなみの福祉保健」を考える懇談会運営事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・南区の保健・医療・福祉等の連携強化等を目的として、関係者や団体から助言をいただく懇談会を開催しました。(2月) <p>(3) 地区別計画応援事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地区社会福祉協議会に、地区別計画に位置付けられた事業に対する補助金を交付しました。(10地区) ・地域活動団体に、第4期計画(地区別計画を含む)の推進に寄与する活動に対する補助金を交付しました。(2団体) 			
<p>主な増減理由</p>	<p>・南区地域福祉保健計画推進事業における、第4期地域福祉保健計画スタートアップイベントの規模縮小(新型コロナウイルス感染症対策)等による委託料の残 【90万4千円】</p>		

3 いきいきシニア健康応援事業	予算額	決算額	差引額
	236万4千円	188万3千円	48万1千円
<p>高齢者が住み慣れた地域で自分らしい暮らしを続けることができるよう、地域包括ケアシステムの構築に向けた取組を推進しました。</p> <p>また、高齢化が進む中で、健康寿命を延ばし、地域の中で生き生きと自立した生活を送ることができるよう、介護予防に向けた取組を進めるとともに、地域の見守り・支え合いを関係機関と連携して進めました。</p> <p>(1) 地域包括ケアシステム推進事業</p> <ul style="list-style-type: none"> 地域包括ケアシステムの構築とその啓発に向け、令和4年3月に策定された「地域包括ケアシステムの構築に向けた南区アクションプラン」を周知し、取組を進めました。 各地域包括支援センターが開催する地域ケア会議について、地域分析を深める地区に講師を派遣する等の開催支援を行うとともに、区レベル地域ケア会議を開催しました。(2月) <p>(2) お元気21高齢者推進事業</p> <ul style="list-style-type: none"> 介護予防の普及啓発活動や介護予防健診の運営を行う「かigo予防サポーター」の養成と活動支援を行いました。(5～6月・全5回・28人参加) ボランティアと協働で介護予防健診「お元気で21健診」を実施(7会場・96人参加)するとともに、地域の高齢者サロン等で、ボランティアによる出前講座等を実施しました。 <p>(3) 地域ささえあい活動推進事業</p> <ul style="list-style-type: none"> 民生委員等による高齢者等への定期訪問事業を支援しました。(補助金交付：16団体) 			
<p>主な増減理由</p>	<ul style="list-style-type: none"> 地域包括ケアシステム推進事業における講師派遣について、内部講師を活用したことによる報償費の残【23万5千円】 地域ささえあい活動推進事業における、活動規模縮小(新型コロナウイルス感染症対策)等による補助金交付額の残【14万円】 		

4 認知症早期対応・見守り支援事業 <<重点>>	予算額	決算額	差引額
	182万2千円	175万5千円	6万7千円

認知症の予防や認知症の早期診断・早期対応を推進するため、認知症に関する知識の積極的な啓発を行いました。また、認知症になっても安心して暮らせるまちづくりを目指しました。

(1) 認知症の啓発

- ・地域ケアプラザ等身近な場所で医師などによる講演会を実施しました。
(7月・吉野町市民プラザ・約140人参加、10月・みなみん(南公会堂)・110人参加)
- ・認知症キャラバン・メイト支援のための講座等を開催しました。(6月・区役所・31人参加)
- ・地域情報誌等を活用し、認知症の啓発に取り組みました。
- ・南区独自の「南区版オレンジリング」を作成・配布しました。(3,000個作成)

(2) 認知症サポート医との連携

- ・南区医師会の協力を得て、認知症に関する課題の把握と効果的な早期対応の取組について検討するため、認知症サポート医や認知症初期集中支援チームを中心とした関係機関のネットワークを構築しました。
- ・南区認知症初期集中支援チーム検討委員会を開催しました。(2月・書面開催)

(3) 見守り支援

- ・「南区認知症高齢者あんしんネットワーク」を関係機関(区、警察署、地域包括支援センター)や協力機関(公共交通機関)と運用しました。
- ・あんしんネットワーク連絡会を開催し、認知症に関する知識や協賛、協力機関の課題を共有及び支援体制の強化を図り、地域の見守り・早期発見体制(ネットワーク)の向上に取り組みました。(7月・区役所・41人参加)

(4) 権利擁護の啓発

- ・広く区民に対し、自らの老後について考えるきっかけとなるよう、成年後見制度の理解と終活に関する普及啓発を目的とした「講演会」を開催しました。
(7月・区役所・57人、10月・みなみん(南公会堂)・126人参加)
- ・成年後見制度に係る教材DVDを作成し、周知啓発を図るツールとして活用しました。

IV こども

1 すこやか子育て支援事業 <重点>	予算額	決算額	差引額
	681万円	617万1千円	63万9千円
<p>養育者の子育て力の増進と相談体制の充実を図り、地域ぐるみで子育てを応援し養育者支援を強化します。また、地域での見守りと子育て支援によって、児童虐待の未然防止や障害児の地域からの孤立を防止しました。</p> <p>(1) 赤ちゃん学級 縮小実施</p> <ul style="list-style-type: none"> 主に1歳未満の第1子の養育者の育児不安解消と仲間づくりを目的に、区内11会場で教室を開催しました。(9回/1会場あたり) <p>(2) 土曜両親教室</p> <ul style="list-style-type: none"> 両親教室(平日開催)に参加が困難な就労妊婦とパートナーのために、土曜両親教室を開催しました。(6月、9月、12月、3月) <p>(3) 児童虐待予防事業</p> <ul style="list-style-type: none"> 児童虐待の予防につながるよう、養育者に対する心理的な支援に資する個別相談を行いました。 アドバイザーの助言や居場所マップの配布を通して、子ども食堂などの居場所づくり活動を支援します。また、子どもの居場所マップの配布や居場所の活動団体のポスター掲示を通して、子どもの居場所を地域に広く周知しました。(5月・居場所マップ区内市立小中学校配布、8月・区役所ギャラリーにてポスター展示) 地域で子どもや養育者を見守り、児童虐待を未然に防ぐために、子育て支援に取り組む支援者を対象に「支援者スキルアップ研修」を実施しました。(12/21) <p>(4) 障害児地域交流活動推進事業 縮小実施</p> <ul style="list-style-type: none"> 障害児の余暇支援と障害児理解の普及啓発・情報発信を目的に「学齢障がい児支援運営委員会」に補助金を交付しました。 <p>(5) 子育て情報提供事業</p> <ul style="list-style-type: none"> 子育てに関する相談窓口を紹介する「こども家庭相談リーフレット」や、地域の子育て支援情報をまとめた「子育て応援マップ」を更新作成しました。 個別支援を効果的に実施するため、窓口等でタブレット端末も活用した相談支援を行い、妊娠期から切れ目のない育児支援を行いました。 <p>(6) 保育園応援隊</p> <ul style="list-style-type: none"> 保育園児の健全な育成を図るとともに、地域へ貢献し連携を深めるため、花苗の手入れや公園清掃などのボランティア活動を、地域の方々と保育園児が一緒に行いました。 <p>(7) みなっち杯えきでん交流事業 代替実施</p> <ul style="list-style-type: none"> 区内の認可保育園の園児同士の交流を深め、保育園間のネットワークづくりを進めるため、えきでん大会の開催を予定していましたが、新型コロナウイルスの感染リスクを避けるため中止し、代替として複数の近隣園が集まってリレーや体操などを実施したほか、年長児による共同作品をデザインしたポスターの、区内の京浜急行4駅、市営地下鉄4駅及び区役所内の区民ギャラリーでの展示を行いました。(11~12月) <p>(8) みんなでおどろう南区音頭</p> <ul style="list-style-type: none"> 区内の幼稚園及び保育園間の交流を促進するとともに、地域への愛着を深めてもらうため、区制80周年に向けて南区音頭の踊り方の説明用DVDを作成し、各園に配布しました。(1月) DVDをもとに各園で園児に踊ってもらうとともに、先生向けの講習会を開催しました。(2月) 			
<p>主な増減理由</p>	<ul style="list-style-type: none"> みんなでおどろう南区音頭における、DVD制作委託の見積合わせによる委託料の残 【29万円】 児童虐待予防事業における、消毒用物品の在庫品活用による消耗品費の残 【17万5千円】 赤ちゃん学級における、一部中止(新型コロナウイルス感染症対策)による報償費の残 【10万8千円】 障害児地域交流事業における、事業内容縮小(新型コロナウイルス感染症対策)による補助金の残 【8万2千円】 		

2 青少年育成事業	予算額	決算額	差引額
	136万4千円	132万3千円	4万1千円

地域の青少年の健全育成を推進するため、団体等の活動に対し補助金を交付しました。

(1) 青少年活動補助金

- ・ふれあいキャンプ事業を実施する青少年指導員協議会へ補助金を交付し、異年齢児間の交流を図りました。(7/16～17・御殿場キャンプ場・62人参加(小学3年～中学生33人、青指29人参加))
- ・青少年の考えや思いを作文にして発表をする「ボイス・オブ・ユース事業」を実施する青少年指導員協議会に補助金を交付し、青少年の健全育成を図りました。(12月・みなみ(南公会堂)応募作文数：1,714編、入選作文：66編、作文集発行数：2,010冊)
- ・区民少年野球大会実行委員会へ補助金を交付し、スポーツの普及及び青少年の交流を図りました。(5～7月・区内小中学校及び清水ヶ丘公園多目的広場等・26チーム)

(2) 学校と地域の交流応援事業

- ・学校・地域コーディネーターの活動促進のため、学校・地域コーディネーターとともに、連絡会、研修会を企画・実施しました。(研修会：7月、11月、2月、幹事会：5月、7月、9月、11月、1月、2月、3月)
- ・学校・地域コーディネーターの普及啓発のため、啓発物品(ネックストラップ、クリアファイル)を作成し、各校で活用しました。(3月)
- ・市立横浜総合高校が「総合的な学習の時間」の一環として実施する「横総生にオファーです」において、区役所から2件地域の課題解決策の提案を依頼し、生徒がポスター発表を行いました。(7～1月)

V 地域のか

1 地域のか応援事業 <<重点>>	予算額	決算額	差引額
		390万円	331万8千円
<p>地域の実情に応じた支援を行い、地域活動の好循環につなげられるよう、地域情報の提供や好事例の発信、全職員の意識醸成など、地域のかを応援するための基礎となる取組を行いました。</p> <p>(1) 地区別情報収集・提供事業</p> <ul style="list-style-type: none"> 様々な地域活動に活用できるよう、最新の国勢調査結果に基づき地域別データを更新し、区ホームページで提供しました。(3月) <p>(2) 地域づくり応援事業</p> <ul style="list-style-type: none"> 地域で活動する人や、自治会町内会と連携した活動の好事例を地域情報誌「キラリ」で発信しました。(年2回発行) 団体同士の連携や地域の課題解決、新たな人材づくりを促進するため、補助金交付団体の交流会を開催しました。(3月・12団体・23人参加) 南区元気な地域づくり補助制度の交付団体及び南区地域福祉保健計画推進団体が、自らの活動を振り返るとともに、他の団体へ情報提供するために、地域活動発表会を開催しました。(2月・発表団体6団体(補助金交付団体4団体・地区社協2団体)・104名参加、YouTube再生数(7月28日時点):全編版138回) 地域が自ら課題解決や魅力づくりに取り組めるよう、地区連合町内会が主催する地区懇談会の開催(5~6月・513人参加)を支援しました。 地域の団体が行う活動に対する助言や、ICT活用の支援等を行う専門家の派遣を実施しました。(派遣先:登り窯と永田の自然を守る会、本大岡地区町内会連合会) 区役所の地域支援機能の充実を目指し、職員向け研修を実施しました。(10~11月・44人参加) <p>(3) 地域のか応援補助金事業</p> <ul style="list-style-type: none"> 地域活動の人材づくりをさらに促進できるよう、新たに地域の課題解決等に取り組む団体に対し、補助金の相談・受付を行い、交付決定しました。(2団体) 			
主な増減理由	<ul style="list-style-type: none"> 地域づくり応援事業における、専門家派遣数が想定より少なかったことによる報償費の残【37万5千円】 地域づくり応援事業における、補助金交付団体交流会の委託料の残【23万円】 		

2 クリーン・グリーンロードみなみ	予算額	決算額	差引額
		70万円	35万3千円
<p>地域の身近な道路の清掃、美化活動を行うハマロード・サポーターと協働を進め、区民の大切な財産である街路樹を適切に維持管理する手法の検討や補植を実施しました。</p> <p>(1) ハマロード・サポーター協働事業</p> <ul style="list-style-type: none"> 3年度に作成した「低木植樹帯管理マニュアル(案)」のデザイン・校正及び印刷・製本を行い、ハマロード・サポーターに配付しました。(12月) 市大病院前歩道の植樹帯に補植を行いました。(11月) 			
主な増減理由	<ul style="list-style-type: none"> 職員が低木植樹帯管理マニュアルのデザイン・校正を対応したことによる印刷製本費の残【35万6千円】 		

Ⅵ 着実に取り組む事業

1 区役所運営事業 <<重点>>	予算額	決算額	差引額
	1,090万3千円	1,517万9千円	△427万6千円
<p>市税の申告時期に身近に相談できる場の提供や、窓口混雑状況を区ホームページから配信するなど、区役所利用者の利便性向上を図るほか、来庁者に配慮した庁舎環境を整備しました。また、区民の脱炭素社会への関心を高めるため、子どもたちが環境問題に興味を持つ機会の提供や、身近な緑の維持・保全に取り組むとともに、区民利用施設等でLED照明への改修を行いました。さらに、令和5年の区制80周年に向けた準備を進めました。</p> <p>(1) 人権啓発推進等事業</p> <ul style="list-style-type: none"> 区民を対象とした人権啓発講演会を実施しました。(11月・みなみん(南公会堂)) 職員向け人権啓発研修を実施しました。 <p>(2) 庁舎環境整備事業</p> <ul style="list-style-type: none"> 必要性や緊急度に応じて、庁舎環境の改善を図りました。 庁舎の環境維持のため必要な保守管理業務を実施しました。 庁舎内における電話通信障害を改善するため、PHS電話システムを一部導入しました。 <p>(3) 市税啓発事業</p> <ul style="list-style-type: none"> 来庁者が集中し混雑する税の申告期間に、税理士による医療費控除の申告相談を実施するとともに、お客様を適切な窓口案内することで、混乱防止、待ち時間の短縮等、申告体制の充実を図りました。(2～3月) <p>(4) 区政推進事業</p> <ul style="list-style-type: none"> 南区運営方針の策定や区連絡調整業務を進めました。 <p>(5) 統計概要の作成</p> <ul style="list-style-type: none"> 各種統計によって得られた資料をまとめた統計概要「統計で知る みなみ」を発行しました。(2月) <p>(6) 脱炭素行動普及啓発事業</p> <ul style="list-style-type: none"> 区民利用施設で環境負荷が軽減できるLED照明設備に改修しました。(永田地区センター) 民間企業等が提供する環境に関する出前講座をまとめたパンフレットを作成し、区内市立小学校に紹介しました。(5月) 希望する個人や地域のグループに対し、緑のカーテン栽培物品等を提供しました。(4月・団体：20団体、個人：386人) 花の種・苗等を、区内の市立小・中学校、保育園へ配布しました。(10月・小中学校14校、保育園1園) <p>(7) 窓口サービス向上事業</p> <ul style="list-style-type: none"> 戸籍課及び保険年金課の窓口発券機を更新し、混雑状況をリアルタイムに区ホームページから配信することで、窓口サービスの向上を図りました。 <p>(8) 区制80周年記念事業推進費</p> <ul style="list-style-type: none"> 令和5年12月の区制80周年に向けて、区民、区役所が一体となり、周年を祝う様々な取組を展開していくため、実行委員会を設立(6/20)し、補助金を交付しました。 			
<p>主な増減理由</p>	<ul style="list-style-type: none"> 庁舎環境整備事業における、PHS電話システムを一部導入したこと等に伴う委託料の増【△290万5千円】 庁舎環境整備事業における、感染症対策物品や衛生関連用品の購入等に伴う消耗品費の増【△146万9千円】 		

2 広報広聴事業	予算額	決算額	差引額
	225万2千円	16万6千円	208万6千円
<p>区内のバス路線や市民利用施設のほか、急病時の連絡先など、生活に役立つ情報をまとめた区民生活マップを転入される方にお渡ししたほか、総合案内窓口で配布しました。また、南区マスコットキャラクター「みなっち」の普及を進めました。</p> <p>(1) 広報・広聴事業</p> <ul style="list-style-type: none"> 区民生活マップを転入者や希望者へ配布しました。 南区マスコットキャラクター「みなっち」のイラストパターンを見直し、「みなっち」着ぐるみの貸し出しを行いました。また、適正な管理に向けたガイドラインを作成しました。 			
<p>主な増減理由</p>	<ul style="list-style-type: none"> 令和3年度作成の区民生活マップの残部を活用したことによる委託料及び印刷製本費の残【150万6千円】 「南区マスコットキャラクター みなっち」イラストパターンの作成に係る見積合わせによる委託料の残【60万7千円】 		

3 みなみ多文化共生推進事業 <重点>	予算額	決算額	差引額
	692万3千円	556万4千円	135万9千円

区内に暮らす外国籍等の住民と地域社会が共に暮らしやすいまちづくりを進めるため、区役所やみなみ市民活動・多文化共生ラウンジにて情報提供や生活相談等を行いました。また、区内で行われるイベント等への通訳派遣、チラシの翻訳を行うほか、ごみ集積場所に掲示するステッカーを多言語で作成する等、適正排出を促進しました。

(1) 外国人共生支援事業

- ・弁護士・教育関係者等の専門家による多言語相談等を行いました。
(法律相談、在留相談、教育相談・利用件数37件)
- ・自治会町内会や区の事業のチラシなどの翻訳やイベント等への通訳派遣を行いました。(3件)
- ・外国籍等青少年の地域・社会での活躍促進等を進めるため、ボランティア向け情報交換会(7月・10月・各8団体参加)、外国につながる青少年のボランティアプログラム(7~8月・全5回・延べ40人)などを実施しました。

(2) 学校を核にした多文化共生事業

- ・外国籍等の児童が多い小学校で、外国人ボランティアによる外国の文化や言葉、スポーツ、遊びなどを紹介するプログラムを実施しました。また、地域における多文化理解を推進するため、保護者が参加するプログラムも実施しました。
(98回・6,600人参加・南吉田小、中村小、日枝小、石川小、太田小、蒔田小)
- ・小学校で活動する外国人ボランティア初心者向けの研修会を実施しました。(10月・27人参加・日本語、英語、中国語で実施)

(3) 多言語による窓口案内事業

- ・通訳ボランティアを区役所窓口へ配置しました。
- ・来庁者の多い窓口職場にタブレット端末を設置し、テレビ電話通訳(英語・中国語ほか)による案内を行いました。
- ・外国籍等の住民のための「南区役所活用ガイド」(英語・中国語)をホームページに掲載し、転入者や希望者へURL及び二次元コードが記載されたちらしを配布しました。

(4) 多言語による子育て支援事業

- ・乳幼児健診時に通訳を配置しました。(中国語・英語・タガログ語)
- ・各種相談窓口のリーフレット等の翻訳を行いました。(中国語・英語・タガログ語・ハングル)

(5) 多言語によるごみ適正排出促進事業

- ・ごみ適正排出促進ステッカー(英語・中国語ほか)などを作成し、ごみ集積場所に掲出しました。

主な増減理由	・多言語による窓口案内事業における、通訳タブレット端末貸与等の委託料の契約残【106万1千円】
--------	---

4 みなみチャレンジごみ減量事業	予算額	決算額	差引額
	338万9千円	309万5千円	29万4千円
<p>横浜市一般廃棄物処理計画（ヨコハマ3R夢プラン）の南区削減目標に向け、区民・事業者・区役所が目標を共有し、協働のもと、ごみの発生抑制と減量化を進め、きれいな街づくりを推進しました。</p> <p>(1) ヨコハマ3R夢プラン推進事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ごみ減量モデル地区を4地区設け、2つの重点分野（①プラスチック対策、②食品ロス削減）を設定し、地域住民の減量行動のきっかけとなる取組を推進しました。 ・区民の集まる場所（スーパーの店頭等）での啓発活動に加え、区内8駅で2つの重点分野を啓発するポスターの掲出を行いました。（12月、2月） ・保育園、幼稚園、小学校に訪問して出前講座を行いました。（8か所） ・単身者向け賃貸住宅の居住者にごみ出しルールを広めるため、神奈川県宅建協会加入店舗を通じてリーフレット等広報物を店頭に配置し、PRを促進しました。 <p>(2) 街の美化推進事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・街の美化活動をきっかけに地域の輪を広げていくことを目指して、清掃月間イベントを実施しました。（11月・延べ3,321人参加）地域や事業者、学校等それぞれの団体が日頃独自に行っている清掃活動を一緒に行い、街の美化だけではなく多世代交流、健康促進等、横のつながりを持った活動につなげました。 ・不法投棄排出防止看板等の告知物を製作し、関係機関と連携して区域での啓発を実施しました。 ・大岡川プロムナードの清掃活動を桜・落葉の時期に、障害者地域作業所へ委託しました。（4月、10～12月） <p>(3) 南区環境にやさしい街づくり</p> <ul style="list-style-type: none"> ・区推進本部会議、功労者表彰式を実施しました。（5月） 			
<p>主な増減理由</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ヨコハマ3R夢プラン推進事業における、区内8駅でのポスター啓発に係る見積合わせによる広告料の残【19万円】 		

5 地域住民との連絡調整事業	予算額	決算額	差引額
	348万円	321万5千円	26万5千円
<p>地域住民組織である自治会町内会との連絡調整等を円滑に進めるため、自治会町内会への依頼業務の負担軽減対策としての配送業務の委託や、自治会町内会長感謝会等を実施しました。</p> <p>(1) 配送業務の委託</p> <ul style="list-style-type: none"> 区等が自治会町内会に依頼する配布物等を各団体が指定する場所に配送しました。(8月、12月を除く各月) <p>(2) 自治会町内会長感謝会の開催及び永年役員表彰の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> 自治会町内会を代表し、運営を総括する会長の日ごろの労苦に感謝の意を表すため、感謝会を開催するとともに、5年在職の会長に対し感謝状と記念品を贈呈しました。(3月・区役所・81人参加) 自治会町内会の役員を永年務めた方に区長感謝状を贈呈しました。(3月) <p>(3) 自治会町内会加入促進及び自治会町内会支援</p> <ul style="list-style-type: none"> 宅建協会南支部等に協力を依頼し、物件契約時に居住者に対して自治会町内会の加入案内をお渡ししてもらい、加入率向上に努めました。(82店舗送付) 若い世代や子育て世代向けの加入促進リーフレットを配布し、将来の担い手確保につなげました。 			
<p>主な増減理由</p>	<ul style="list-style-type: none"> 自治会町内会加入促進及び自治会町内会支援における、加入促進リーフレットの在庫活用による印刷製本費の残【21万4千円】 		

6 地域で守ろう私の安全安心事業	予算額	決算額	差引額
		818万9千円	782万2千円

「安全で安心して暮らせる街づくり」のために、交通安全対策や防犯活動支援等を行うとともに、地域での意識を高める啓発を実施しました。

(1) 交通安全支援事業

- 小学生を対象とした「はまっ子交通あんぜん教室」を実施しました。(4～10月・17校実施・延べ3,726人参加)
また、地域の交通安全教室等を支援しました。
- 各種交通安全運動、自転車マナーアップ等の啓発キャンペーンを行いました。
- 交通安全区民総ぐるみ大会を開催し、交通安全功労者表彰を実施しました。(9月・みなみん(南公会堂)・約200人参加)
- 幼稚園児等とその保護者を対象に交通安全教室等を実施し、地域で活動している交通安全母の会や学援隊などの活動を紹介しました。(1～3月・2園実施・延べ88人参加)
- 南交通安全協会との協働事業によりランドセルカバーを作成しました。

(2) スクールゾーン対策事業

- 各小学校のスクールゾーン対策として、路面標示等の新設・補修しました。(7～3月)
また、スクールゾーン対策組織に助成金を交付しました。(7～8月)

(3) 放置自転車対策事業

- 区内鉄道8駅に、自転車等マナーアップ監視員を配置しました。

(4) 防犯啓発活動

- 特殊詐欺を防止するツールとして、県の補助金(神奈川県特殊詐欺被害防止対策事業補助金)を活用し、警察が推奨する抑止効果の高い、迷惑電話(特殊詐欺)防止機能付き電話機などの活用の支援を実施しました(電話10台、録音機16台配付)。
- 被害が絶えない特殊詐欺対策を引き続き強化するため、キャンペーン、防犯教室、地域紙を活用した啓発などを警察と連携して実施しました。
- 消費生活推進員や地域の方が行う防犯活動を広報、周知することで、活動の機会を増やすことにつなげました。

(5) 地域防犯活動支援

- こどもの安全対策支援として、110番の家マップを刷新するとともに、昨年度と同様に新入学児童へ防犯ブザー(1,578個)を配付しました。(3月)
- 自治会町内会への防犯物品の配付(7月)、委託による防犯パトロール等を行いました。

(6) 防犯情報提供等

- 安全で安心なまちづくりを推進するための啓発を行いました。(10月)
- 登録した区民へ防犯情報等をメール配信しました。

主な増減理由	<ul style="list-style-type: none"> 放置自転車対策事業における、自転車等マナーアップ監視員業務委託の入札残【22万2千円】 防犯啓発活動における、特殊詐欺対策機器の購入に係る見積合わせによる消耗品費の残【21万円】
--------	--

7 食とくらしの衛生支援事業	予算額	決算額	差引額
		102万6千円	93万5千円

区民が快適で安全な生活を送るため、食品衛生に関する啓発、支援を行いました。また、ペットの飼育マナー向上と災害時におけるペット対策の働きかけ、衛生害虫やハチに関する知識や防除方法についての啓発を行いました。

(1) 食品衛生知識の普及・衛生支援事業

- ・南区内の飲食店等に対し、食中毒予防に関するリーフレットを配布し、衛生知識の普及啓発を行いました。
- ・新型コロナウイルス感染拡大予防ガイドラインを継続して周知しました。

(2) 動物適正飼育及び災害時ペット対策推進事業

- ・飼い主のマナーに関するチラシ等の配布を行いました。
- ・災害時用ペットカードを活用した普及啓発を行いました。
- ・地域防災拠点のペット対策支援のため、一時飼育場所開設キットを作成し配布しました。
- ・ペットの飼い主向け講演会を開催しました。
(3/5・「犬の飼い方セミナー」25名参加)
- ・衛生害虫等に関するチラシの配布や、アシナガバチの巣の駆除器材の貸出を行いました。

(2) 令和5年度 南区個性ある区づくり推進費の執行状況について

1 区分別総括表

(単位:千円)

区分	令和5年度予算	令和4年度予算	差引
自主企画事業費	99,092	98,990	102
統合事務事業費	48,878	49,033	▲155
統合事務費	32,297	33,266	▲969
統合事業費	16,581	15,767	814
区庁舎・区民利用施設管理費	548,841	531,446	17,395
合計	696,811	679,469	17,342

2 内 訳

(1) 自主企画事業費

(単位:千円)

重点分野	令和5年度予算	事業名(〈重〉は重点事業)
賑わいにあふれ、 あったかさを感ぜられるまちづくり	25,215	区制80周年記念事業〈重〉
		魅力発信・賑わいづくり事業〈重〉
		南区あったかいふるさとまつり事業〈重〉 他2事業
誰もが住み続けたい、 子育てしやすいまちづくり	22,182	すこやか子育て支援事業〈重〉
		保育施設交流・入所サポート事業〈重〉
		健やか元気応援事業〈重〉
		地域包括ケア推進事業〈重〉 他2事業
安全で安心して暮らせるまちづくり	25,711	みなみ減災推進事業〈重〉
		地域で守ろう私の安全安心事業
		脱炭素行動普及啓発事業 他2事業
地域の皆様とともに歩む区づくり	25,984	区役所運営事業〈重〉
		みなみ多文化共生推進事業〈重〉
		地域の力応援事業〈重〉 他2事業
計	99,092	21事業

(2) 統合事務事業費

(単位:千円)

区 分	令和5年度予算	説 明
統合事務費	32,297	各区共通で区の裁量が少ない事務費
統合事業費	16,581	各区共通で区の裁量が少ない事業費
広報よこはま南区版発行事業	8,272	広報よこはま南区版発行に係る経費
専門相談事業	1,470	法律相談等の専門相談に係る経費
クリーンタウン事業	288	美化推進重点地区の清掃に係る経費
消費生活推進員事業	295	消費生活推進員の活動に係る経費
緊急時情報システム運用事業	558	電話を利用した緊急時情報システムの運用経費
スポーツ推進委員支援事業	2,585	スポーツ推進委員の活動に係る経費
青少年指導員事業	2,183	青少年指導員の活動に係る経費
学校・家庭・地域連携事業	750	学校・家庭・地域の連携に係る経費
健康づくり月間事業	180	いきいきふれあい南なんデーの開催経費
計	48,878	

(3) 区庁舎・区民利用施設管理費

(単位:千円)

区 分	令和5年度予算	説 明
区庁舎	126,536	区庁舎・公用車等管理運営費
土木事務所	4,567	土木事務所管理運営費
公会堂	40,674	公会堂管理運営費
地区センター・スポーツ会館	169,218	地区センター(4館)・スポーツ会館管理運営費
青少年施設	8,394	こどもログハウス管理運営費
老人福祉センター	29,869	老人福祉センター(南寿荘)管理運営費
コミュニティハウス	94,634	コミュニティハウス(7館)管理運営費
スポーツセンター	40,460	スポーツセンター管理運営費
みなみ市民活動・多文化共生ラウンジ	30,064	みなみ市民活動・多文化共生ラウンジ管理運営費
その他施設(広場・遊び場)	1,225	子どもの遊び場遊具等安全点検委託料、子どもの遊び場等管理運営委託料、町のはらっぱ運営費等
区庁舎・区民利用施設修繕費	3,200	
計	548,841	

変化する社会情勢に対応しながら、区民の皆様の安全・安心を守るとともに、人々のつながり、あつたかさを感じられる、そして住みたいと感じられる南区を目指します。

令和5年は区制80周年という記念すべき年となります。長引くコロナ禍の影響を受け、薄れかけている地域のつながりや賑わいの回復につなげていくため、相互に連携させながら多面的に記念事業を推進していきます。

賑わいにあふれ、あつたかさを感じられるまちづくり

下町情緒を感じさせる商店街、歴史ある寺社や文化財、区民に親しまれるまつりなどの資源を生かして、区内外に向けた魅力の発信に力を入れるとともに、賑わいと地域経済の活性化に資する取組を進めます。また、区制80周年を多くの地域の皆様とお祝いできるよう、様々な記念事業に取り組みます。

- ・区制80周年記念事業【重点事業】
- ・南区あつたかいふるさとまつり事業【重点事業】
- ・区民文化・スポーツ支援事業
- ・魅力発信・賑わいづくり事業【重点事業】
- ・みなみ商店街等活性化事業

誰もが住みたい、子育てしやすいまちづくり

南区を子育てしやすいまちにしていくため、子育て支援の相談体制の充実や子どもの居場所づくりを一層強化するとともに、青少年の健全育成に取り組みます。また、区民の健康の維持・増進や高齢者の介護予防、障害者支援など様々な取組を進め、一人ひとりが住み慣れた地域で自分らしく暮らせるまちを目指します。

- ・すこか子育て支援事業【重点事業】
- ・健やか元気応援事業【重点事業】
- ・地域福祉保健計画等推進事業
- ・保育施設交流・入所サポート事業【重点事業】
- ・地域包括ケア推進事業【重点事業】
- ・青少年育成事業

安全で安心して暮らせるまちづくり

区民一人ひとりの自助力や地域の防災力を高めるため、出前講座の開催、防災マップや冊子の作成などの啓発事業を実施するとともに、災害時要援護者の把握や平常時からの見守り体制づくり等を地域の皆様と進めます。また、引き続き交通安全や防犯対策などに地域と協働で取り組むほか、市民利用施設のLED化など脱炭素につながる事業を推進していきます。

- ・みなみ減災推進事業【重点事業】
- ・地域で守ろう私の安全安心事業
- ・食とくらしの衛生支援事業
- ・脱炭素行動普及啓発事業
- ・みなみチャレンジごみ減量事業

地域の皆さまとともに歩む区づくり

各種広報媒体を通じて区の様々な情報を発信するほか、地域の活力アップや、地域活動に携わる人材の発掘・育成等に取り組みます。また、外国籍住民等との相互理解を深める取組などを通じて、多文化共生のまちづくりを進めます。

- ・区役所運営事業【重点事業】
- ・地域の力応援事業【重点事業】
- ・広報広聴事業
- ・みなみ多文化共生推進事業【重点事業】
- ・自治会町内会支援事業

令和5年度 南区個性ある区づくり推進費自主企画事業費 執行状況

新規	令和5年度新規事業
拡充	予算を拡充した主な事業
80周年	区制80周年関連事業

I 賑わいにあふれ、あったかさを感ぜられるまちづくり * ()内は実績。下線を付したものは今後の予定です。

1 区制80周年記念事業 <<重点>>	250万円	<令和4年度 100万円> 総務課
<p>区民と区役所が一体となって区制80周年記念事業を実施します。</p> <p>(1) 区制80周年記念事業 250万円 拡充 80周年</p> <ul style="list-style-type: none"> 南区は令和5年に区制80周年を迎えます。周年を契機に区民の皆様の地域への愛着を育み、地域の賑わいにつなげていけるよう、自治会町内会、地域団体、企業など区民の皆様と区役所が一体となって80周年を祝う取組を進めていくため、南区制80周年記念事業実行委員会に対し、補助金を交付しました(6月)。 		

2 魅力発信・賑わいづくり事業 <<重点>>	624万5千円	<令和4年度 572万円> 区政推進課
<p>区の花「さくら」を中心とした南区の魅力を発信します。 また、区制80周年の機運を盛り上げるため、記念動画制作等、様々な事業を進めます。</p> <p>(1) 区の花「さくら」普及啓発事業 144万5千円</p> <ul style="list-style-type: none"> 桜の時期の情報発信(3月)、桜の剪定枝の提供(12月)、小学生向け出前講座の実施などを通じ、区の花「さくら」の普及啓発に取り組みます。 身近な場所で区の花「さくら」に触れていただけるよう、公園愛護会・ハマロードサポーター等と連携したサクラソウ・コスモス(秋桜)の花植えや、区民へのコスモス種配布等、普及花の取組を推進します。80周年 <p>(2) 魅力発信事業 480万円 拡充</p> <ul style="list-style-type: none"> 区民等が区内で撮影した思い出の写真を募集し、区制80周年記念「#みんなで作る南区動画」を制作(12月)します。80周年 南区ガイドマップを発行(3月)するとともに、令和4年度に認定した「みなみのおすすメシ」について広報よこはま(6月～)などの媒体を活用し、周知に取り組みます。 民間事業者等と連携し、区外からの誘客促進につながる取組を実施します。 		
関連する 主な局事業	<p>○地域に根差した緑や花の楽しみづくり事業(ガーデンネックレス横浜18区連携) 【環境創造局から区配】(248万円)</p> <ul style="list-style-type: none"> 南区庁舎でのガーデンネックレスPRおよび身近な公園の魅力アップに活用します。(※局と調整中) <p>○街路樹管理事業【道路局から区配】(500万円)</p> <p>街路樹による良好な景観の創出・育成事業【環境創造局から区配】(650万円)</p> <ul style="list-style-type: none"> 大岡川プロムナードの魅力ある景観を維持するため、桜の植樹を行います。 	

3 南区あったかいふるさとまつり事業 《重点》

1,070万円

〈令和4年度 1,070万円〉

地域振興課

まつりの開催を通じて、区民相互の交流・地域のふれあいや賑わいを促進し、南区への愛着が湧く地域づくり及び区づくりを推進します。

(1) みなみ桜まつり事業 1,070万円

- ・南区の様々な魅力を知るきっかけとなるよう、区民、関係団体など多くの方が参加できるまつりを実施します。
- ・みなみ桜まつり実行委員会を立ち上げました(9/1)。
- ・大岡川プロムナードでの桜のライトアップ(3/22~4/7)や蒔田公園でのイベント(3/23、24)を開催します。

関連する
主な局事業

- 脱炭素プラス事業【温暖化対策統括本部から区配】(30万円)
 - ・みなみ桜まつりにおけるLED照明の一部導入に活用します。

4 みなみ商店街等活性化事業

300万円

〈令和4年度 270万円〉

地域振興課

地域のふれあいや賑わいを創出する魅力ある商店街づくりを支援することで、地域及び商店街の活性化を図ります。また、南区商店街連合会と連携し、区制80周年の機運を盛り上げていきます。

(1) 商店街活性化イベント補助事業 50万円

- ・商店街が中心となり実施するイベント事業に対する補助金を交付することにより、地域とのふれあいや賑わいを創出し、魅力ある商店街づくり及び商店街の活性化を図ります。

(2) 商店街等活性化支援事業 250万円 拡充

- ・南区内の商店街のお得な商品や逸品を提供するイベントとして、また、南区内の商店街をより広く区民の皆さまに周知する場として、「商店街朝市」(10/1・南なんデーと同時開催)及び「商店街フェスタ」(2/11・スポーツフェスタと同時開催)を南区商店街連合会と連携して開催します。
- ・商店街PRビデオの放映及び各商店街が制作しているパンフレットについて各所での配架を行い、市民や来訪者などに広く目に留まるようPRを行います。
- ・商店街クーポンマップの作成・配布を行い、南区商店街を広く周知するとともに、来街者の増加を目指します。(10月~12月まで) 新規 80周年

関連する
主な局事業

- 横浜市商店街活性化イベント助成事業【経済局から区配】(市合計2,800万円)
 - ・商店街が実施する地域とのふれあいや賑わいを創出するイベントを支援します。

5 区民文化・スポーツ支援事業

277万円

〈令和4年度 225万3千円〉

地域振興課

区民が主体的に行う文化活動・生涯スポーツの普及を行う団体を支援し、賑わいと活力のある南区を目指します。また、南区の誰もが本に親しみ、読書を楽しめる機会を提供します。

- (1) 南区文化祭支援事業 105万円 80周年
 - ・文化祭を実施する実行委員会に補助金を交付し、区民の文化活動を支援します。また、区制80周年記念事業として盛り上げていきます。(11/3、4、5・みなみん(南公会堂)・多目的ホール他)
- (2) 南区文化賑わい支援事業 15万円
 - ・活動団体が自主的・主体的に企画、実施する団体について、南区文化賑わい支援補助金を交付し、区民の文化活動を活性化し賑わいを創出します。(補助金交付 5月・1団体、8～12月実施)
- (3) 南区読書活動推進事業 100万円 拡充 80周年
 - ・区内における読書活動を推進するため、地域の読み聞かせ団体や学校、施設等とのネットワークづくりを進めるとともに、11月の読書活動推進月間に併せて区内の読書活動の情報をまとめた「秋のみなみ読書イベントガイド」を配布します(11月)。
 - ・区民が読書に興味・関心を持つきっかけづくりとして、南図書館と共催で区制80周年を記念した読書活動推進講演会(9/17・関東学院中学高等学校)を実施します。
- (4) スポーツ協会支援事業 30万円 80周年
 - ・区民が気軽に参加でき、「する・観る・支える」をテーマとした生涯スポーツを始めるきっかけとなる事業を推進するため、南区スポーツ協会主催の地域貢献事業(みなっちランニングフェスタ(12/3)、みなっちスポーツフェスタ(2/11))に補助金を交付します。また、東京2020オリンピック・パラリンピックのレガシーとして、引き続きボッチャの普及等を推進します。
- (5) 区民体力づくり事業 27万円 80周年
 - ・区民の体力づくりを目的として、南区スポーツ推進委員連絡協議会主催により、区内の公園や史跡を巡る10km以上のトレイルウォーキング(11/3)を実施します。

1 すこやか子育て支援事業 《重点》

516万円

〈令和4年度 492万円〉

こども家庭支援課

養育者の子育て力の増進と相談体制の充実を図り、地域ぐるみで子育てを応援し養育者支援を強化します。また、地域での見守りと子育て支援によって、児童虐待の未然防止や障害児の地域からの孤立を防止します。

(1) 赤ちゃん学級 69万7千円

- ・主に1歳未満の第1子の養育者の育児不安解消と仲間づくりを目的に、区内11会場で教室を開催します。(10回/1会場あたり)

(2) 土曜両親教室 24万6千円

- ・両親教室(平日開催)に参加が困難な妊婦とパートナーのために、土曜両親教室を開催します。(6月、9月、12月、3月)

(3) 子どもの居場所づくり事業 85万円

- ・連絡会、交流会等を通じて、アドバイザーの助言を得ながら、子どもの居場所の活動を支援します。また、子どもの居場所マップの配布や居場所の活動団体のポスター掲示を通して、子どもの居場所を地域に広く周知することで必要なつながりを支援します。

(4) 児童虐待予防事業 138万2千円

- ・児童虐待の予防につながるよう、養育者に対し心理職による個別相談を行います。
- ・児童虐待予防のため、地域で子どもや養育者を見守れるよう啓発物品の配布等を行います。

【参考】台紙付きオレンジリボン(個包装) 商店街等配布用

(5) 障害児地域交流活動推進事業 35万円

- ・障害児の余暇支援と障害児理解の普及啓発・情報発信を目的に「学齢障がい児支援運営委員会」に補助金を交付します。

(6) 子育て情報提供事業 118万5千円

- ・子育てに関する相談窓口を紹介する「こども家庭相談リーフレット」を作成し区内公立小中学校へ配布しました。地域の子育て支援情報をまとめた「子育て応援マップ」を作成します。
- ・個別支援を効果的に実施するため、窓口等でタブレット端末も活用した相談支援を行い、妊娠期から切れ目のない育児支援を行います。

(7) 親子あんしん窓口事業 45万円 **新規**

- ・乳幼児を連れてこども家庭支援課へ来庁する区民が、諸手続きをスムーズに行い、落ち着いて相談できるよう、課内待合スペースにキッズスペースを整備しました。(6月)
- また、窓口業務繁忙期に保育協力者による乳幼児の見守りを実施しました。(8月)

関連する
主な局事業

○ 児童虐待防止啓発地域連携事業【こども青少年局から区配】

(市合計9,712万円)

- ・児童虐待防止に関する広報・啓発を行うとともに、地域における児童虐待防止のためのネットワークづくり、人材育成を推進します。

○ 寄り添い型生活支援事業【こども青少年局から区配】(市合計3億4,146万円)

- ・養育環境に課題のある小・中学生を対象にして、基本的な生活・学習習慣を身に付け、自立した生活を送れるよう生活支援・学習支援等を実施します。

地域と保育・教育施設同士の交流を通じて、園児の健全な育成を図ります。また、子ども連れでの来庁の負担軽減と利便性向上のため、保育に関するオンライン相談を実施します。

(1) 保育園応援隊 12万7千円

- ・保育園児の健全な育成を図るとともに、保育園と地域の相互連携・貢献を深めるため、花苗の手入れや公園清掃などのボランティア活動を、地域の方々と保育園児が一緒に行います。

(2) みなっち杯えきでん交流事業 74万円

- ・区内の認可保育園の園児同士の交流を深め、保育園間のネットワークづくりを進めるため、区内5つのエリアでそれぞれ、えきでんやゲームなどの交流事業を実施します。
(11月・蒔田公園他)

(3) みんなでおどろう南区音頭 81万5千円

80周年

- ・区制80周年に合わせて作成した南区音頭の踊り方の説明用DVDを活用し、区内の幼稚園及び保育園間の交流を促進し、地域への愛着を深めるため、各園で年長児を中心に南区音頭を踊ります。
- ・法被等を作成し、各園に貸出しを行います。また、保育園の先生向けの講習会を開催しました。

(4) 子育てオンライン相談事業 48万5千円

新規

- ・保育・教育コンシェルジュによる保育所入所等の相談について、これまでの窓口・電話に加え、新たにオンラインでも受けられるようにしました。(6月)

関連する
主な局事業

○ 保育・教育コンシェルジュ事業【こども青少年局事業】

(市合計1億3,897万円)

- ・就学前のお子さんの預け先に関する保護者の相談に応じ、保育サービス等について情報を提供します。保護者ニーズと保育サービス等を適切に結びつけることを目的として、各区のこども家庭支援課に配置します。

3 健やか元気応援事業 <<重点>>

635万9千円

<令和4年度 723万3千円>

福祉保健課 高齢・障害支援課 保険年金課

高齢化が進む中で、健康寿命を延ばし、地域の中で生き生きと自立した生活を送る区民が増えることが非常に大切です。若い時期からの生活習慣病の予防、日常的な運動習慣、健康診断の受診勧奨等を通じ、心身の健康づくりを応援します。

(1) 健康づくり推進事業 250万9千円 **拡充**

- ・生活習慣病の発症・悪化を予防するための講座を、区役所や地域で開催し、区民の健康づくりを支援します。
- ・保健活動推進員、食生活等改善推進員など地域の健康づくりの推進役と連携し、血管年齢等の測定会の実施や健康情報の発信を行います。
- ・離乳食教室等の事業や地域のイベントにおいて、推定野菜摂取量を測定して幼少期からの健康的な食習慣を推進します。

(2) 国民健康保険特定健診受診率向上事業 20万円

- ・特定健診の受診率向上を目指し、区局で役割分担して取り組み、健康福祉局では既加入者に対してハガキ、SMSを利用した個別受診勧奨を実施します。
南区では、新たに受診啓発用物品を作成し、国民健康保険への切替手続時に、窓口での受診勧奨に重点的に取り組みます。

(3) 自殺対策事業 65万円

- ・区民や、地域の支援者が悩んでいる人に「気づき」、専門機関への「つなぎ」ができるように区民向け、関係団体等支援者向けに研修を実施します。(9月・みなみん(南公会堂))
- ・南区職員全員がゲートキーパーになることを目標に、ゲートキーパー研修を実施し、受講者に『南区ゲートキーパーカード』を配布することで、職員の意識向上につなげました。(4月・転入者研修・52人参加)
- ・新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、自殺リスクが高まっているため、鉄道事業者や関係団体等と連携して、ポスター掲出を通じて普及啓発を図ります。(9月・区内鉄道駅、関係団体施設等)
- ・自殺対策強化月間(9月、3月)を中心に、南図書館や区役所で啓発キャンペーンを実施します。(9月・区役所ギャラリー)

(4) 障害者サポート事業 150万円

- ・障害者の自主的な健康づくりを目的に、区内の障害福祉サービス事業所の利用者を対象とした定期的な運動機会の確保として出張形式の運動指導を実施します。
- ・食生活や口腔ケア等の生活習慣に関連した健康管理の普及啓発を目的に、区内の障害福祉サービス事業所を会場とし歯科衛生士等の職員が出張講座を実施します。
- ・地域精神保健家族会の活動の充実を図るため、アドバイザーによる支援を行いました。(5月・12人参加、7月・20人参加)
- ・障害児・者の支援機関や当事者団体と連携し、障害者施設・作業所をまとめたパンフレットの作成・周知を行い、障害者や施設・作業所と地域のつながるきっかけづくりを進めます。
- ・障害に関する相談支援機能の充実を目的として、障害児・者の相談支援を行う事業所を対象としたスキルアップの研修を実施します。

(5) いきいきふれあい南なんデー(10/1・区役所、みなみん(南公会堂)) 150万円 **80周年**

- ・健康と福祉をテーマにした、講演会や体験型のブースなどを通して、区民の健康増進と地域福祉の向上を図るとともに、区制80周年に向けた機運を醸成します。

関連する
主な局事業

- 新型コロナウイルス感染症対策の実施(感染拡大防止に向けた取組)
保健所体制の強化【健康福祉局から区配】(2,497万円)
・疫学調査などの感染症業務に対応する保健所の危機管理体制を強化するため、会計年度任用職員の採用及び人材派遣契約の活用により、人員を確保します。

高齢者が住み慣れた地域で自分らしい暮らしを続けることができる地域包括ケアシステムの構築に向け、令和4年3月に策定した「横浜型地域包括ケアシステムの構築に向けた南区アクションプラン」に基づき、「介護予防・健康づくり」「生活支援の充実」「在宅医療・介護連携」「認知症対策」「介護・権利擁護」の5つの分野において取組を進めます。

(1) 生活支援体制整備推進事業 20万円

- ・区内の地域包括支援センターにおける地域ケア会議の効果的な開催を目的に、テーマ等に応じて講師派遣を行う「地域ケア会議サポート事業」を令和元年度から行ってきました。令和5年度は、これまでのサポート事業の成果を共有し今後の取組に活かしていくため、区内の地域包括センター全体が参加する集合型の研修会を開催しました。(8月)
また、区レベルの地域ケア会議を開催します。(2月)

(2) お元気21高齢者推進事業 119万5千円 拡充

- ・介護予防の普及啓発活動や介護予防健診の運営を行う「かいご予防サポーター」の養成と活動支援を行いました。(5～6月全5回・区役所・28人参加)
- ・ボランティアと協働で介護予防健診「お元気で21健診」を実施するとともに、地域の高齢者サロン等で、ボランティアによる出前講座等を実施します。
(6月・27人参加、8月・19人参加、9月、10月、11月実施予定)
- ・認知症の早期発見・早期診断に繋げるきっかけとするため、タッチパネルによる認知症もの忘れ相談プログラムを実施します。(6月・48人参加、8月・17人参加、10月) 新規

(3) 地域ささえあい活動推進事業 107万1千円

- ・民生委員等による高齢者等への定期訪問事業を支援します。

(4) 認知症早期対応・見守り支援事業 90万6千円

ア 認知症に関する理解促進・関係機関との連携強化 76万8千円

- ・地域ケアプラザ等身近な場所で認知症に関する普及啓発を目的に、区民に向け医師などによる講演会を実施します。(8/4・みなみん(南公会堂)・146人参加)
- ・南区オレンジリングや認知症普及啓発のリーフレットを作成し、様々な機会に認知症の普及啓発を実施します。
- ・認知症キャラバン・メイト支援のための講座等を開催しました。(6月・区役所・20人参加)
- ・南区医師会の協力を得て、認知症に関する課題の把握と効果的な早期対応の取組について検討するため、認知症サポート医や認知症初期集中支援チームを中心とした関係機関のネットワークを構築します。(9/14・認知症初期集中支援チーム検討委員会・区役所)

イ 見守り体制支援 13万8千円

- ・「南区認知症高齢者あんしんネットワーク」を関係機関(区、警察署、地域包括支援センター)や協力機関(公共交通機関)と運用していきます。
- ・あんしんネットワーク連絡会を開催し、認知症に関する知識や協賛、協力機関の課題を共有及び支援体制の強化を図り、地域の見守り・早期発見体制(ネットワーク)の向上に取り組めます。

(5) 権利擁護推進事業 36万6千円

- ・広く区民に対し、自らの老後について考えるきっかけとなるよう、成年後見制度の理解と終活に関する普及啓発を目的とした「講演会」を開催します。(11月・みなみん(南公会堂))
- ・令和3年度、令和4年度に作成した権利擁護の普及啓発に係る教材DVDを活用し、身近な地域で成年後見制度やエンディングノートの周知を図るツールとして活用します。
- ・成年後見制度の必要性を本人に分かりやすく説明するリーフレットを新たに作成し、対象者や関係機関等に広く周知しました。(6月) 新規

関連する
主な局事業

- **地域包括ケア推進事業費【健康福祉局から区配】（40万円）**
 - ・横浜型地域包括ケアシステムの構築に向けた区アクションプランを基に、介護予防、生活支援、医療・介護連携、認知症支援など、区域での取組を推進します。
- **介護予防・生活支援サービス事業【健康福祉局事業】（市合計92億6,678万円）**
 - ・介護保険の要支援認定を受けた方等を対象に、訪問及び通所のサービスを提供します。専門的なサービスに加え、住民主体の支援等も含めた多様なサービスを提供します。
- **介護予防普及啓発事業【健康福祉局事業】（市合計3,504万円）**
 - ・高齢者の健康づくりや介護予防について、リーフレット等の配布や講演会の開催をとおして普及啓発を行います。
- **地域介護予防活動支援事業【健康福祉局事業】（市合計2,052万円）**
 - ・研修会等の開催により、地域の介護予防に関する活動の活性化や人材育成を行います。
- **元気づくりステーション事業【健康福祉局事業】（市合計1,176万円）**
 - ・身近な地域で主体的・継続的に介護予防に取り組むグループ活動（元気づくりステーション）について、新規立ち上げ等の支援を行います。
- **ひとり暮らし高齢者等「地域で見守り」推進事業【健康福祉局から区配】（57万円）**
 - ・75歳以上のひとり暮らし高齢者等について、横浜市が保有する個人情報をもとに民生委員及び地域包括支援センターに提供し、相談支援や地域における見守り活動等につなげます。
- **認知症支援事業【健康福祉局事業】（市合計1億4,080万円）**
 - ・専門医師等による認知症に関する保健福祉相談を実施します。
 - ・認知症サポーター、認知症キャラバン・メイトを養成します。
 - ・認知症早期発見事業として、65歳以上を対象に、市内の医療機関で問診による検査を本格実施します。
- **市民の意思決定支援事業【健康福祉局事業】（市合計687万円）**
 - ・市民一人ひとりが自らの意思で自身の生き方を選択し、人生の最期まで自分らしく暮らすことができるよう、エンディングノートを作成し、活用のための講座を開催します。

5 地域福祉保健計画等推進事業	350万円 <令和4年度 324万5千円> 福祉保健課
<p>第4期南区地域福祉保健計画を推進するため、広報、関係機関の連携強化、地域活動団体への支援等に取り組みます。</p> <p>(1) 南区地域福祉保健計画推進事業 350万円 拡充</p> <p>ア 南区地域福祉保健計画推進事業 207万円</p> <ul style="list-style-type: none"> 第4期計画で特に取り組むべき地域福祉保健の課題解決を目的に、関係機関等によるプロジェクト会議を開催します。 様々な広報媒体を通じて、計画の進捗や地域福祉の活動事例を共有します。 <p>イ 「みなみの福祉保健」を考える懇談会運営事業 9万円</p> <ul style="list-style-type: none"> 第4期計画の推進状況等について、南区の保健・医療・福祉等の関係者や団体と意見交換を行う懇談会を開催します。(3月) <p>ウ 地区別計画応援事業 134万円</p> <ul style="list-style-type: none"> 地区社会福祉協議会に、地区別計画に位置付けられた事業に対する補助金を交付します。 地域活動団体に、第4期計画(地区別計画を含む)の推進に寄与する活動に対する補助金(チャレンジ支援事業補助金)を交付しました。(3団体) 	
関連する 主な局事業	<p>○ 地域福祉保健計画推進事業【健康福祉局事業】(市合計2,060万円)</p> <ul style="list-style-type: none"> 第4期市計画を推進するとともに、区計画の推進を支援します。また、第5期横浜市地域福祉保健計画(計画期間令和6年度～10年度)を策定します。

6 青少年育成事業	125万8千円 <令和4年度 136万4千円> 地域振興課 こども家庭支援課
<p>地域の青少年の健全育成を推進するため、団体等の活動に対し補助金を交付します。</p> <p>(1) 青少年活動補助金 101万円</p> <ul style="list-style-type: none"> ふれあいキャンプ事業を実施する青少年指導員協議会に補助金を交付し、異年齢児間交流を図りました。(7/29～30・御殿場・62人参加) 青少年の考えや思いを作文にして発表するボイス・オブ・ユース事業を実施する青少年指導員協議会に補助金を交付し、青少年の健全育成を図ります。(12/3・みなみん(南公会堂)) 区民少年野球大会実行委員会に補助金を交付し、スポーツの普及及び青少年の交流を図りました。(5～7月・区内小中学校校庭および清水ヶ丘公園多目的広場等・27チーム)。 <p>(2) 青少年ボランティア地域交流事業 24万8千円 新規</p> <ul style="list-style-type: none"> 青少年の健全育成及び青少年と地域の交流促進を目的に、中学生を対象にボランティアを募集し(5～6月)、オリエンテーションを実施後(7月)、希望する区内放課後児童育成事業所で活動の受入を行いました(7～8月・16事業所・48人参加)。 	

1 みなみ減災推進事業 <重点>

1,213万2千円 <令和4年度 1,401万7千円>

総務課 福祉保健課 高齢・障害支援課

災害時、自らの身を守るための「自助」意識向上、地域で共に助け合う「共助」、災害対応力の向上のための「公助」に取り組みます。

【自助】

(1) 防災啓発事業 85万1千円

- ・区民の自助・共助意識向上のため、防災フェスタ(11月)を実施します。
- ・自治会町内会や若年層を対象に「防災出前塾」を開催し、自助・共助の必要性、重要性を啓発します。
- ・若年層への防災意識の啓発に向けて、市民防災センターへのバスツアー(8月)を実施し、将来の地域防災活動の担い手の育成を支援しました。

(2) 減災対策支援事業 229万7千円

- ・家具転倒防止器具(5~1月)、ガラス飛散防止フィルム(5~11月)、感震ブレーカー(5~1月)の設置費用の一部を助成し、区民の自助対策を支援します。

ア 家具 . . . 件数: 35件 <60件>

補助率: 重点対策地域及び対策地域※ 10分の9 <前年度同>
一般地域 3分の2 <前年度同>

※「横浜市密集市街地における地震火災対策計画」による
重点対策地域及び対策地域

イ ガラス . . . 件数: 20件 <30件>

補助率: 3分の2

ウ 感震ブレーカー . . . 件数: 自治会町内会向け200件 <前年度同>

(自治会町内会向け) 補助率: 5分の2 (危機管理室の補助(2分の1)に上乗せし、
合計で10分の9補助)

エ 感震ブレーカー . . . 件数: 個人向け200件 <前年度同>

(個人向け) 補助率: 5分の2 (危機管理室の補助(2分の1)に上乗せし、
合計で10分の9補助)

- ・防災マップを8,000部増刷します。

【共助】

(3) 災害時要援護者支援事業 301万4千円

- ・自治会・町内会担当者向け説明会を開催しました。(8月)
- ・区保有の要援護者名簿及び要援護者の居所を表示した地図を自治会町内会に提供(1~3月)し、要援護者への声掛け、訪問活動等顔の見える関係づくりに向けた取組を支援します。
- ・要援護者名簿の受領により要援護者支援の取組を進める自治会町内会に対して、活動支援物品の支給等を行います。

【公助】

(4) 災害対策本部運営強化事業 355万2千円

- ・迅速な区本部運営ができるよう職員用備蓄及び消耗品を更新・購入しました。(7月)
- ・風水害時に開設する避難場所用に、食料(水、クッキー等)を備蓄します。
- ・風水害時に迅速な広報、注意喚起及び連絡体制の確保のため、即時避難指示対象世帯に「緊急時情報システム」等の適切な通信環境を維持します。

(5) 地域防災拠点運営強化事業 181万4千円

- ・地域防災拠点の防災倉庫内の資機材の点検修理(6~9月)を行い、災害に備えます。
- ・地域防災拠点訓練の充実が図れるよう、横浜市防災ライセンス資機材取扱講習会受講者を対象とした南区防災ライセンスリーダースキルアップ講習会として、図上訓練(10月)を実施します。

(6) 災害医療体制強化事業 60万4千円

- ・医療関係物品の整備、区民への広報を行い、災害医療体制の充実を図ります。
- ・南区医療救護隊訓練(10月)、南区災害医療連絡会議(12月)を開催します。

<p>関連する 主な局事業</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 地域の防災担い手育成事業【総務局事業】(市合計2,205万1千円) <ul style="list-style-type: none"> ・町の防災組織のメンバーを対象にした研修の実施、及びそのフォローアップとして、地域にアドバイザーを派遣し、防災力向上に向けた取組を支援します。 ・市民防災センターで、市民の自助共助推進のための研修を実施します。 ○ 災害時要援護者支援事業【健康福祉局事業】(市合計1億5,048万円) <ul style="list-style-type: none"> ・災害時に要援護者の安否確認や避難支援等の活動が円滑に行われるよう災害時要援護者名簿の提供をはじめ、地域での自主的な支えあいの取組を支援します。
-----------------------	---

2 脱炭素行動普及啓発事業	154万円	<令和4年度 147万3千円> 地域振興課 区政推進課
----------------------	--------------	--------------------------------

脱炭素社会の実現に向け、区民利用施設等でLED照明への改修を行います。また、講演会の開催や、身近な緑の維持・保全の取組など、区民の関心を高める普及啓発に取り組みます。

- (1) 区民利用施設の照明設備等改修事業 100万円
 - ・区民利用施設で環境負荷が軽減できるLED照明設備に改修します。
(11~12月・永田地区センター)
- (2) 脱炭素行動PR事業 54万円 拡充
 - ・区民が気軽に取り組める省エネ行動などをテーマとした講演会を開催しました。(8/6・みなみん(南公会堂)・20人参加) 新規
 - ・花の種・苗等を、区内の市立小・中学校、保育園へ配布します。(10月)

※3R推進事業179万円はP38に記載

<p>関連する 主な局事業</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 脱炭素プラス事業【温暖化対策統括本部から区配】(60万円) <ul style="list-style-type: none"> ・区民が気軽に取り組める省エネ行動などをテーマとした講演会の開催に活用します。(30万円) ・みなみ桜まつりにおけるLED照明の一部導入に活用します。(30万円)<再掲> ○ 保育園・幼稚園・小中学校での緑の創出・育成事業【環境創造局から区配】(135万円) <ul style="list-style-type: none"> ・小学校校庭の芝生の維持管理の支援や保育園・幼稚園・小中学校への花の種・苗等の配布を実施します。
-----------------------	--

「安全で安心して暮らせる街づくり」のために、交通安全対策や防犯活動支援等を行うとともに、地域での意識を高める啓発を実施します。

- (1) 交通安全支援事業 135万6千円 **拡充**
- 小学生を対象とした「はまっ子交通あんぜん教室」を実施しています。(4～6月・16校実施、10月1校実施予定)
また、地域の交通安全教室等を支援します。
 - 各種交通安全運動、自転車マナーアップ等の啓発キャンペーンを行います。
 - 交通安全区民総ぐるみ大会を開催し、交通安全功労者表彰を実施します。(9/29・みなみん(南公会堂))
 - 幼稚園児等とその保護者を対象に交通安全教室等を実施し、地域で活動している交通安全母の会や学援隊などの活動を紹介します。(1～3月)
 - 南交通安全協会との協働により、新入学児童へ配布するランドセルカバーを作成します。 **新規**
- (2) スクールゾーン対策事業 156万8千円
- 各小学校のスクールゾーン対策として、スクールゾーン対策組織に助成金を交付しました。(5月)
また、路面標示等の新設・補修を行います。(9～3月)
- (3) 放置自転車対策事業 136万円
- 区内鉄道8駅に、自転車等マナーアップ監視員を配置します。
- (4) 防犯啓発活動 71万6千円
- 後を絶たない特殊詐欺被害等に対し、警察署や防犯協会などの関係機関と連携して、キャンペーン(10/28)や地域誌を活用した広報(12月)など、幅広い世代を対象とした効果的な啓発を行い、区民の防犯意識を高めます。
- (5) 地域防犯活動支援 291万4千円
- こどもの安全対策支援として、110番の家マップを刷新するとともに、新入学児童へ防犯ブザーを配付します。(3月)
 - 自治会町内会への防犯物品の配付(7月実施)や、委託による防犯パトロール等を行います。
- (6) 防犯情報提供等 5万円
- 安全で安心なまちづくりを推進するための啓発を行います。
 - 登録した区民へ防犯情報等をメール配信します。

関連する
主な局事業

- 自転車マナーアップ事業【道路局から区配】(364万円)
- 自転車等マナーアップ監視員を配置し、交通の妨げとなる放置自転車の防止活動を行います。また、自転車のマナーアップに関する啓発活動を行います。

横浜市一般廃棄物処理計画（3R夢プラン）の削減目標に向け、区民・事業者・区役所が目標を共有し、協働のもと、ごみの発生抑制と減量化を進め、きれいな街づくりを推進します。

(1) 3R推進事業 179万円

- ・ごみ減量モデル地区を4地区設け、2つの重点分野（①プラスチック対策、②食品ロス削減）を設定し、地域住民の減量行動のきっかけとなる取組を推進します。
- ・区民の集まる場所（スーパーの店頭等）での啓発活動に加え、区内8駅で2つの重点分野を啓発するポスターの掲出を行います。
- ・保育園、幼稚園、小学校に訪問して出前講座を行います。
- ・3R夢会議を計3回開催します。（9月）
- ・神奈川県宅建協会と協働し、単身者向け賃貸住宅の入居者にごみの適正排出を周知します。

(2) 街の美化推進事業 130万4千円 拡充

- ・街の美化活動をきっかけに地域の輪を広げていくことを目指して、清掃月間イベントを実施します。（11月） 80周年
地域や事業者、学校等それぞれの団体が日頃独自に行っている清掃活動を一緒に行い、街の美化だけではなく多世代交流、健康促進等、横のつながりを持った活動につなげます。
- ・不法投棄排出防止看板等の告知物を製作し、関係機関と連携して区域での啓発を実施します。
- ・大岡川プロムナードの清掃活動を桜・落葉の時期に、障害者地域作業所へ委託します。（4月、10～12月）

(3) 南区環境にやさしい街づくり 9万5千円

- ・区推進本部会議、功労者表彰式を実施しました。（5月）

<p>関連する 主な局事業</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 3Rの推進【資源循環局事業】（市合計3,809万円） <ul style="list-style-type: none"> ・3Rを推進するため広報・啓発・環境学習を通じて、市民・事業者の実践行動を推進します。 ○ 発生抑制等推進事業【資源循環局事業】（市合計2,490万7千円） <ul style="list-style-type: none"> ・プラスチックごみの発生抑制や分別・リサイクルを推進します。また、食品ロスの削減に向け、家庭での実践に役立つ情報発信等を行います。 ○ クリーンタウン横浜事業【資源循環局事業】（市合計1億5,779万9千円） <ul style="list-style-type: none"> ・喫煙禁止地区の巡回指導を行うとともに、歩きたばこ防止や喫煙マナー向上に取り組めます。また、駅周辺などにおける清掃活動・美化活動に取り組む企業や団体を支援し、地域や市民・事業者の皆様と連携した美化活動を展開します。
-----------------------	---

5 食とくらしの衛生支援事業

88万6千円

〈令和4年度 102万6千円〉

生活衛生課

区民が快適で安全な生活を送るため、食品衛生に関する啓発、支援を行います。また、ペットの飼育マナー向上と災害時におけるペット対策の働きかけ、衛生害虫やハチに関する知識や防除方法についての啓発を行います。

(1) 食品衛生知識の普及・衛生支援事業 46万6千円

- ・ 南区内の飲食店や高齢者施設、区民等に対し、食中毒・感染症予防について、リーフレット等を配布し衛生知識の普及啓発を行います。

(2) 動物適正飼育推進事業 26万円

- ・ ペットの飼い主に対し、講演会等によりマナー啓発を実施(11月)します。
- ・ 地域防災拠点のペット対策支援のため、拠点運営委員会で啓発を行います。また、拠点訓練ではペット同行避難訓練の支援を行っていきます。

(3) ねずみ・衛生害虫駆除支援事業 16万円

- ・ ねずみ、衛生害虫等に関するチラシの配布や、アシナガバチの巣の駆除器材の貸出を行います。

IV 地域の皆さまとともに歩む区づくり

* ()内は実績。下線を付したものは今後の予定です。

1 区役所運営事業 <<重点>>

1,086万1千円

<令和4年度 937万円>

総務課 税務課 区政推進課 戸籍課 保険年金課

人権啓発講演会や人権啓発研修の実施を通じて、区民及び職員の人権意識の向上を図ります。また、市税の申告時期に身近に相談できる場の提供や、区ホームページからの窓口混雑状況の配信など、区役所利用者の利便性向上を図るほか、来庁者に配慮した庁舎環境を整備します。

(1) 人権啓発推進事業 49万4千円

- ・区民を対象とした人権啓発講演会を実施します。(9月・みなみん(南公会堂))
- ・職員向け人権啓発研修を実施します。

(2) 区庁舎環境整備事業 630万7千円

拡充

- ・必要性や緊急度に応じて、庁舎環境の改善を図ります。
- ・庁舎の環境維持のため必要な保守管理業務を行います。
- ・庁舎内における電話通信障害を改善するため、PHS電話システムを一部導入します。

新規

(3) 市税啓発事業 78万円

- ・来庁者が集中し混雑する税の申告期間に、税理士による医療費控除の申告相談を実施するとともに、お客様を適切な窓口案内することで、混乱防止、待ち時間の短縮等、申告体制の充実を図ります。(2~3月)

(4) 区政推進事業 88万円

- ・南区運営方針の策定や区連絡調整業務等を進めます。

(5) 窓口サービス向上事業 150万円

- ・戸籍課及び保険年金課の窓口混雑緩和のため、混雑状況をリアルタイムに区ホームページから配信します。また、メールやLINEでの呼出通知サービスも提供し、窓口サービスの向上を図ります。

(6) データ活用推進事業 90万円

- ・各課が保有する業務データを可視化、分析し、施策検討を支援します。
- ・地域課題に関する議論等に活用するため、最新の国勢調査結果に基づく「地域別データ集」を地域に提供します。

関連する
主な局事業

○総合的な空家等対策の推進 管理不全な空家の防止・解消【建築局事業】

(市合計6,812万円)

- ・地域などからの情報をもとに、空家の所有者調査や現場調査を効果的・効率的に行い、管理不全な空家の状況を継続的に把握します。そのうえで、所有者への「専門家派遣」や「住宅除却工事費補助」などの支援を通じて自主改善を促します。

2 みなみ多文化共生推進事業 <重点>

624万円 <令和4年度 692万3千円>
 地域振興課 区政推進課 こども家庭支援課

区内に暮らす外国籍等の住民と地域社会がともに暮らしやすいまちづくりを進めるため、区役所やみなみ市民活動・多文化共生ラウンジにて情報提供や生活相談等を行います。また、区内で行われるイベント等への通訳派遣、チラシの翻訳を行うほか、ごみ集積場所に掲示するステッカーを多言語で作成する等、適正排出を促進します。

(1) 外国人共生支援事業 209万8千円

- ・弁護士・教育関係者等の専門家による多言語相談等を行います。
- ・自治会町内会や区の事業のチラシなどの翻訳やイベント等への通訳派遣を行います。
- ・外国籍等青少年の地域・社会での活躍促進等を進めるため、ボランティア向けの講座や情報交流会、外国籍等青少年の交流会などを実施します。

(2) 多言語によるごみ適正排出促進事業 20万円

- ・ごみ適正排出促進ステッカー（英語・中国語ほか）などを作成し、ごみ集積場所に掲出します。
- ・外国籍等の住民向け分別教材を活用し、日本語教室などで啓発します。

(3) 多言語による窓口案内事業 153万9千円

- ・通訳ボランティアを区役所窓口へ配置します。
- ・来庁者の多い窓口職場に設置するタブレット端末（ICT機器）の画面を通じた通訳（英語・中国語ほか）による案内を行います。
- ・外国籍等の住民のための「南区役所活用ガイド」（英語・中国語）をホームページに掲載し、転入者や希望者へURL及び二次元コードが記載されたちらしを配布します。

(4) 多言語による子育て支援事業 123万7千円

- ・乳幼児健診時に通訳を配置します。（中国語・英語・タガログ語）
- ・各種相談窓口のリーフレット等の翻訳を行います。（中国語・英語・タガログ語・ハンブル）

(5) 学校を核にした多文化共生事業 116万6千円 拡充

- ・外国籍等の児童が多い小学校で、外国人ボランティアによる外国の文化や言葉、スポーツ、遊びなどを紹介するプログラムを実施します。また、保護者や地域の方々が参加できる機会をつくり、地域における多文化理解を推進します。（対象校：南吉田小、中村小、日枝小、石川小、太田小、蒔田小）
- ・新たに、外国籍等の生徒が多い中学校も対象とし、学校の要望に合わせたプログラムを実施します。（対象校：共進中、平楽中、蒔田中） 新規
- ・外国人ボランティア向け研修会を実施します。（10月：日本語、英語、中国語で実施）

関連する
主な局事業

○ 外国人材の受入れ・共生の推進【国際局事業】（市合計1億4,661万1千円）

- ・外国人材の集住が進む寿東部地区等における地域コミュニティの課題解決に向け、国際交流ラウンジにコーディネーターを配置し、機能強化を図ります。
（区配 450万円）
- ・外国語での対応を必要とする来庁者に対し、迅速かつ正確に窓口対応をするため、テレビ会議システムを介した多言語通訳クラウドサービスを実施し、18区役所にタブレット端末を貸与します。

3 地域の力応援事業 《重点》

338万円

〈令和4年度 240万円〉

地域振興課

地域人材の発掘・育成や地域活動の好事例の発信、また、地域の実情に応じた取組の支援を行うことで、市民主体の地域運営を進めます。

- (1) 地域人材発掘・育成事業 264万5千円 **拡充**
- ・区制80周年を記念し、各地区で活躍されている地区連合町内会長や地域の魅力等を紹介する、キラリ特集号を発行します。(11月末発行予定) **80周年**
 - ・地域活動への参加促進や、人材づくりを進めるため、これから地域活動を始める方向への講習会(寺子屋みなみ)を開催します。
 - ・南区元気な地域づくり補助制度の交付団体及び南区地域福祉保健計画推進団体が、自らの活動を振り返るとともに、他の団体へ情報提供するために、地域活動発表会を開催します。(2/22開催予定)
 - ・地域活動の人材づくりをさらに促進できるよう、新たに地域の課題解決等に取り組む団体に対し、補助金を交付します。
 - 交付件数：3団体(新規1団体、継続2団体)
 - 補助上限額：1年目15万円、2年目10万円、3年目5万円
 - 補助率：寺子屋修了生応援コース 10分の9、地域のつながり応援コース 10分の7
- (2) 地域運営支援事業 73万5千円
- ・地域が自ら課題解決や魅力づくりに取り組めるよう、地区連合町内会が主催する地区懇談会の開催を支援しました。(5～6月・558人参加)
 - ・地域の団体が行う活動に対する助言やICT活用の支援等を行う専門家を派遣します。
 - ・区役所の地域支援機能の充実を目指し、職員向け研修を実施します。

関連する
主な局事業

- 地域の担い手応援事業(地域づくり大学校事業)【市民局から区配】(83万円)
 - ・地域の課題解決や人材づくりを目的とした自治会町内会活動等の次代の担い手となる人材育成のための講座(寺子屋みなみ)を実施します。(12～3月)

4 自治会町内会支援事業	348万円	〈令和4年度 348万円〉
地域振興課		
<p>地域住民組織である自治会町内会との連絡調整等を円滑に進めるため、自治会町内会への依頼業務の負担軽減対策としての配送業務の委託や、自治会町内会長感謝会等を実施します。</p>		
<p>(1) 配送業務の委託 176万7千円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・区等が自治会町内会に依頼する配布物等を各団体が指定する場所に配送します。(8月、12月を除く各月) <p>(2) 自治会町内会長感謝会の開催及び永年役員表彰の実施 108万3千円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自治会町内会を代表し、運営を総括する会長の日ごろの労苦に感謝の意を表すため、感謝会を開催するとともに、5年在職の会長に対し、感謝状と記念品を贈呈します。(3月) ・自治会町内会の役員を永年務めた方に区長感謝状を贈呈します。(3月) <p>(3) 自治会町内会加入促進及び自治会町内会支援 63万円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・宅建協会南支部等に協力を依頼し、物件契約時に居住者に対して自治会町内会の加入案内をお渡ししてもらい、加入率向上に努めました。(81店舗送付) ・若い世代や子育て世代向けの加入促進リーフレットを配布し、将来の担い手確保につなげます。 		
関連する 主な局事業	<p>○ 地域活動推進費【市民局から区配】(市合計10億7,157万円)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自治会町内会及び地区連合町内会の公益的活動に対して補助金を交付するとともに、市・区との連絡調整や地域活動への加入促進事業等に取り組む市・区連合町内会へ補助金を交付し、その活動を支援します。 	

5 広報広聴事業	202万3千円	〈令和4年度 281万2千円〉
区政推進課 総務課		
<p>生活に役立つ情報をまとめた区民生活マップを作成し、転入される方や総合案内窓口で配布するとともに、南区マスコットキャラクター「みなっち」の普及を進めます。 また、南区に関する各種統計資料をまとめた統計概要を発行します。</p>		
<p>(1) 広報・広聴事業 155万2千円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・区民生活マップを発行し(3月)、転入者や希望者へ配布します。 <p>(2) 統計概要発行事業 47万1千円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・南区を数値的にわかりやすく紹介した冊子「統計で知る みなみ」を発行します。(3月) 		

＜案＞

(3) 令和6年度 南区個性ある区づくり推進費の編成の考え方について

地域の皆さまとともにつくる
「あったかい南区」



子育て世代など未来を担う若い世代を支援し、地域でともに活動する仲間を増やしていきながら、高齢者を支えていく等の好循環を創り出すことで、区制80周年で再確認した「あったかい南区」を次世代につなげていきます。

誰もが“つながり”や“あったかさ”を感じられ、ずっと住み続けたいと思える南区をめざし、地域の皆様と連携しながら、次の4つを重点として取組を進めます。

令和6年度 南区個性ある区づくり推進費 自主企画事業の重点



賑わいにあふれ、あったかさを感ぜられるまちづくり



下町情緒を感じさせる商店街、歴史ある寺社や文化財、区民に親しまれるまつりなど、南区らしさを感じられる魅力資源を広く区内外に発信します。また、自治会・町内会をはじめとした地域の皆様と連携しながら、地域の賑わいやつながりをさらに高め、地域経済の活性化を図ります。



誰もが住み続けたい、子育てしやすいまちづくり



南区を子育てしやすいまちにしていくため、子育て支援の相談体制の充実や子どもの居場所づくりを支援するとともに、地域ぐるみで子ども・青少年の健全育成に取り組めます。また、ライフステージに合わせた区民の健康づくりや高齢者の介護予防、障害者支援など様々な取組を進め、一人ひとりが住み慣れた地域で自分らしく暮らせるまちを目指します。



安全で安心して暮らせるまちづくり



脱炭素社会の実現に向け、「GREEN × EXPO 2027」開催の機運醸成や一人ひとりの行動変容につながる意識啓発に取り組むとともに、引き続き、市民利用施設のLED化などの取組を推進します。また、自らの身を守る自助力や地域の防災力を高めるための啓発事業を実施するとともに、災害時要援護者への支援や平常時からの見守り等を地域の皆様と進めるほか、交通安全や防犯対策にも地域と協働で取り組めます。



地域の皆さまとともに歩む区づくり



各種広報媒体を通じて区の様々な情報の発信や区民ニーズの把握を積極的に行うとともに、地域活動に携わる人材の発掘・育成等に取り組めます。また、外国籍住民等との相互理解を深める取組などを通じて、多文化共生のまちづくりを進めます。

災害時要援護者支援事業 個別避難計画の取組について

1 取組の背景

近年の風水害の状況を踏まえ、令和3年5月に災害対策基本法（以下「災対法」という。）が改正され、災害発生時に避難に特に支援を要する避難行動要支援者ごとに個別避難計画を作成することが市町村の努力義務となりました。

2 国の個別避難計画に関する取組指針のポイント

- ・ 個別避難計画とは、避難する際に支援が必要な避難行動要支援者ごとに、支援する人や避難先等の情報を記載した計画。作成には、本人同意が必要
- ・ ケアマネジャー、計画相談員等（以下「福祉専門職等」という。）の協力による計画策定の推奨
- ・ 優先度（洪水浸水想定区域等、当事者本人の心身の状況、独居等の居住実態など）が高いと判断する者について、地域の実情を踏まえながら、法改正からおおむね5年程度で作成に取り組む

3 横浜市の取組

これまで横浜市では、市防災計画に基づき地域の皆様とともに災害時要援護者支援に取り組んでまいりました。また、昨今の大規模風水害をみると、これまで地震対策として検討されてきたことに加え、風水害への対策も必要となっています。

そこで、国の取組指針等を踏まえ、本市でも、発生頻度の上がっている風水害を想定して個別避難計画の作成を進めます。

(1) 令和4年度個別避難計画モデル事業

ア 概要

国の示す優先度を踏まえ、福祉専門職等による作成が必要な対象者から計画を作成。制度の検証を洪水浸水想定区域等に居住する災害時要援護者名簿（以下「名簿」という。）掲載者が多い鶴見区と港北区の一部をモデル地区にて実施

イ 作成方法

- ① 名簿掲載者でモデル地区内に居住している方のうち、要介護度や障害等級の高い方から抽出
- ② 対象者一人で避難場所に行くことが困難など、身体的状況や周囲との関わりなどを福祉専門職等が確認し、本人同意の上で計画を作成

ウ 検証結果

- ① 設定した優先度の条件に当てはまる対象者が一定数存在するため、対象者へ早急に個別避難計画作成のアプローチが必要
- ② すでに施設入所している方、実際には近隣に避難支援がいる方など、名簿情報だけでなく、福祉専門職等が把握するタイムリーな情報が必要。
また、作成には、対象者と日頃から関わりのある福祉専門職の働きかけが有効で、介護保険制度外の事業のため、負担に配慮した事業設計が必要

(2) 令和5年度の取り組みについて

ア 対象地区の拡大（2区から5区）

令和4年度にモデル事業を行った鶴見区、港北区は、モデル地区以外の地区（全域）に対象を広げてまいります。また、洪水浸水想定区域に居住する対象者が多い南区、保土ヶ谷区、戸塚区の3区全域へ対象地区を拡大します。

イ 実施方法

対象地区のケアマネジャーや計画相談員（以下「福祉専門職等」という。）等に研修を実施します。その後、洪水浸水想定区域等に居住する災害時要援護者の中から、要介護度といった身体状況等により抽出した対象者へ調査票を送付するとともに、福祉専門職等の協力により状況確認と個別避難計画作成の働きかけを行います。

<参考：作成対象者>

次の要件をすべて満たし、個人情報等の同意確認が取れた方で優先度の高い方

- ① 洪水浸水想定区域（想定最大規模）、または即時避難指示対象区域に居住する方
- ② 要介護3、4、5いずれかの認定を受けている方、または身体障害者手帳が交付され障害程度等級が1級である方
- ③ お一人で避難所等に移動することが困難な方
- ④ 独居等で移動することを支援してくれる親族等がない方

(3) 今年度のスケジュール

9月 該当区の区づくり推進横浜市議員会議、区連会等で報告

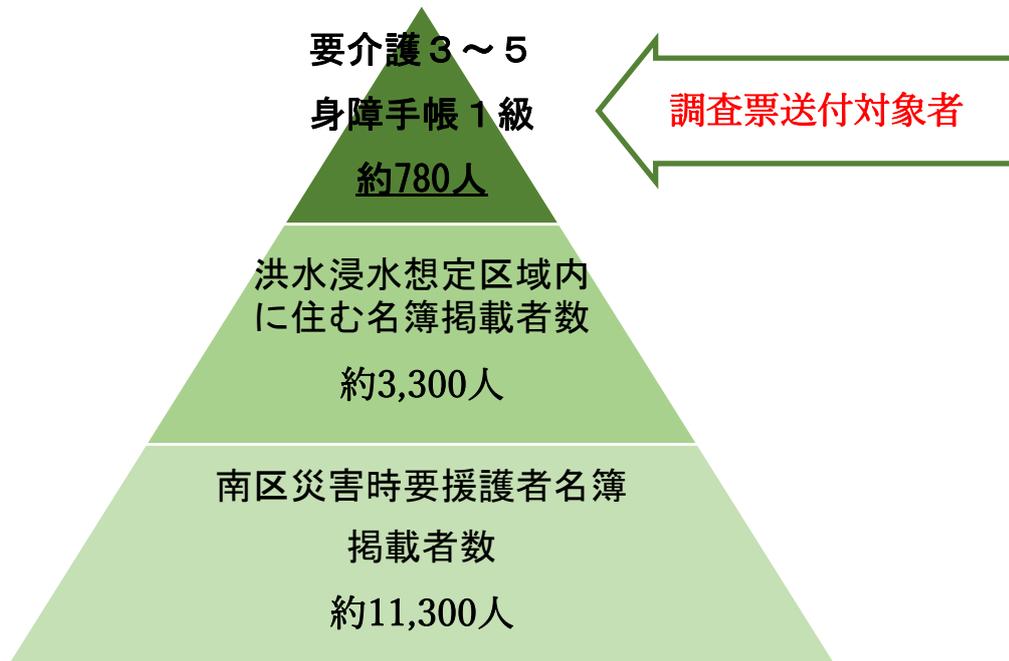
10月 福祉専門職等を対象とした研修の実施

対象者へ調査票送付

11月～2月 個別避難計画作成

次頁参考あり

<参考1：南区における対象者数>



※令和4年4月現在の名簿掲載者数

<参考2：個別避難計画作成の流れ>

横浜市 = 市 福祉専門職 = 専 関係機関 = 関

事業フロー	役割分担	内容
1 対象者抽出	市	ア 南区災害時要援護者名簿掲載 イ 洪水浸水想定区域等在住 ウ 要介護3～5・身障手帳1級
2 対象者への 同意確認	市	①で抽出した対象者に「同意確認書」を送付し、 「計画の作成」「自主防災組織等への情報提供」について 同意を取る
3 福祉専門職による 計画の作成	市 専	計画作成(早期着手)の優先順位を決定 優先順位の高い対象者から、福祉専門職により計画を作成し、 横浜市に提出
	市 専 関	必要に応じて実施 (ケース会議) 関係者で情報を共有、避難方法や移動支援時の配慮等について検討
4 計画の確認	市	③で提出された計画の記載内容(避難経路等)を確認 必要に応じて福祉専門職に修正を依頼